
資料



平成31年3月31日

岩手県水道事業広域連携検討会 検討結果【盛岡広域ブロック】

圏域名	盛岡
構成市町村名	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、矢巾町

1 検討会等の開催状況

年度	開催状況
平成28年度	
平成29年度	特別講演及び情報交換会1回、検討会22回(全体会2回、事務部会11回、技術部会9回)
平成30年度	

2 検討結果

検討項目	内容
(1) 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は、今後30年で9万人を超える減少が見込まれる(2015年度比でマイナス約21%)。 ・一日平均配水量は、今後30年で20,000m³/日を超える減少が見込まれる(2015年度比でマイナス約16%)。 ・長期的な水需要に対して十分な水源を有している。 ・水道施設の老朽化が進んでいる。
(2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・料金収入を将来にわたって安定的に確保していく必要がある。 ・水道施設や水源の統廃合など、効率的な水供給体制の再構築が求められている。 ・老朽化施設の更新計画を立案して対策を図る必要がある。
(3) 取組の方向性	<p>水道事業を取り巻く歴史的・地理的・社会的な背景が各水道事業体によって異なることから、今後の広域連携に関する検討においては、引き続き先進事例の取組を研究するとともに、水道事業体間における情報交換体制を維持しながら、各水道事業の基盤強化に取り組むこととする。</p> <p>なお、今後の取組においては、引き続き岩手県と連携して検討を行うとともに、現在アセットマネジメントに着手中の水道事業体もあることから、今後、建設改良費や更新需要等の把握、供給単価等の将来予測(シミュレーション)等を行い、様々な広域連携による効果等を検討する必要がある。</p>
(4) その他	<p>○各水道事業体単独での取組可能性の検討 広域連携等の検討に先立ち、各水道事業体単独で可能な経営基盤強化への取組について整理した結果、人材の維持及び技術継承、料金改定、アセットマネジメント、官民連携、電気エネルギーの削減等が有効である。また、各水道事業体の取組に係る情報提供や意見交換の体制を今後とも維持していく。</p> <p>○広域連携等における取組可能性の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード関連 水道施設の配置について、既存施設を有効活用する「施設分散型モデル」と新規浄水場を建設して小規模浄水場を廃止する「施設集中型モデル」の2つのモデルケースを作成して検討した結果、概算整備費、良質な水源の活用及びリスク分散の観点において施設分散型が有利であったことから、当面は各水道事業体が保有する水道水源等の施設配置を基本に効率化を図っていく方が有効であると考えられる。 施設管理の広域化や事務所・窓口の効率化については、費用対効果や災害対策等の更なる検討が必要である。 ・ソフト関連 維持管理、水質管理、システム関連など一部の業務について連携・共同化することによる効率化の可能性及びそれに伴う課題を検討した結果、各水道事業体における業務体制やシステムの相違が明らかであることから、今後は、様々な連携形態における費用対効果の検証や個別協議等を継続する。 ・災害対策 災害時に断水等の発生を最小限にするため、水道事業体間における連絡管の整備状況や災害対応用の給水車やタンクの配備状況を確認したところであり、今後は、資器材の共同備蓄、緊急連絡管及び共同の災害対策マニュアルの整備等について検討していく。

岩手県水道事業広域連携検討会 検討結果【県南広域ブロック】

圏域名	県南
構成市町村等名	遠野市、一関市、奥州市、紫波町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、岩手中部水道企業団、奥州金ヶ崎行政事務組合

1 検討会等の開催状況

年度	開催状況
平成28年度	検討会1回
平成29年度	検討会1回
平成30年度	検討会各部会(経営部会、技術部会)3回

2 検討結果

検討項目	内容
(1) 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・組織統合等に伴う人員削減により、少人数で多数の業務を抱えている団体が多い状況 ・老朽化が進んだ施設等について、今後更新が必要。また、老朽化に伴う漏水対策や修繕対応に伴う業務が増加している。 ・会計については、ブロック内の全団体において公営企業会計が導入されている。 ・隣接する団体間での水の融通や、事務の共同処理を実施している。 ・ブロック内の団体の給水区域は広範に渡っており、かつ、各事業体の中でも山間部と平野部が混在している。 ・ブロック全体の浄水場施設能力は289,289m³/日、一日最大給水量は183,130m³/日となっている。
(2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模団体においては、数名での業務体制となっている等、職員数が不足しており、これまで培われてきた、職員の技術継承が困難となりつつあることから、アウトソーシングや体制の見直し等による対応が必要。 ・個々の団体において、委託業務等を必要に応じ導入し、課題解決に取り組んでいるが、一定の規模を有する団体でなければ業務委託による経費削減効果を出すことが難しい。一方で、団体ごとの背景に差異があることから、共同発注等については今後慎重な検討が必要。 ・人口減少や節水機器の導入に伴い、給水収益については今後も減少していくことが予想されており、適切な規模での資産管理や収益確保に向けた料金改定が必要。
(3) 取組の方向性	①業務の効率化、②施設投資の最適化、③技術力の確保等々広域連携による課題への対応策を検討していく。
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・経営部会、技術部会において、それぞれ広域連携の可能性について議論を重ねている。 ・広域連携の手法については、事業者間で施設整備水準や水道料金等、これまでの運営状況に差異があることから、今後も実情に応じ、できることから広域連携の手法を検討していく。

岩手県水道事業広域連携検討会 検討結果【沿岸南部広域ブロック】

圏域名	沿岸南部
構成市町村名	大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町

1 検討会等の開催状況

年度	開催状況
平成28年度	検討会2回
平成29年度	検討会3回
平成30年度	検討会2回、勉強会1回

2 検討結果

検討項目	内容
(1) 現状	<ul style="list-style-type: none"> 沿岸南部ブロックの構成市町は、東日本大震災での被災から復興途上にあり、復興事業を優先としている。 人口の減少、復興整備後の水需要の減少が見込まれる。 水道拡張時期の水道施設・水道管が耐用年数が到来し、更新時期を迎えている。 人員削減による職員の減少により、業務(技術)の継承が難しくなっている。
(2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> 安定した経営の持続 水需要の減少に伴う収益の減少が見込まれ、適正な料金設定が必要。 老朽施設の更新と持続可能なシステムの構築 適切な施設更新(耐震化)計画と更新費用(財源)の確保。 業務(技術)承継が可能となる体制の構築 職員の減少による体制の弱体化が懸念される。 公営企業に求められる経営・業務・技術の専門分野における職員の適切な配置。
(3) 取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 経営の効率化と適切な料金設定により、持続可能な安定した経営の基盤強化を図る。 適切な施設更新(耐震化)計画に基づく施設の統廃合や長寿命化を図り、更新費用の抑制に努め、効率的な施設更新(耐震化)、大規模な災害にも耐えうる強靱で持続する施設の構築を進める。 将来にわたり使い続けられる水道の体制を構築するため、効率のよい手法を広域的に検討する。
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携の手法については、事業統合をはじめ様々な方法が挙げられるところである。 これまでの検討会では、ブロック内、近隣市町であっても施設統合などは地理的要因で困難であること、事業者間で施設整備水準や水道料金等これまでの運営状況に差異があること、一方で、共通の課題があることを把握した。 今後は、それぞれの実情に応じた、共通の課題解決に向けての広域連携の手法を検討していく。

岩手県水道事業広域連携検討会 検討結果【宮古広域ブロック】

圏域名	宮古
構成市町村名	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村

1 検討会等の開催状況

年度	開催状況
平成28年度	検討会1回
平成29年度	検討会1回
平成30年度	検討会3回

2 検討結果

検討項目	内容
(1) 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・給水人口の減少に伴い、水需要が減少し、料金収入の減少が見込まれるなか、水道施設については、施設・管路の老朽化が進み、更新費用の増加が見込まれ、一段と経営環境が厳しくなる。 ・東日本大震災、台風10号災害の復興・復旧に多くの事業費と時間を割かれている状況である。 ・当該地域は、居住地域が山や谷で隔てられ広範囲に点在しているため、浄水場、配水池などが多数存在(浄水場44カ所、配水池132カ所)していることから、物理的な施設の統合が難しい状況にある。 ・水道料金は、20m³使用した場合において、2,430円から3,860円と市町村間で1.6倍の格差がある。 ・会計については、法適用が2市町、法非適用が2町村となっている。 ・水道料金、会計制度の違いにより、経営統合はハードルが高い。
(2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・管路の更新費用の確保のための料金改定を検討する必要がある。 ・水需要の減少を考慮した施設・管路の更新計画を策定する必要がある。(ダウンサイジング、スペックダウン) ・職員の減少が見込まれるなか、専門的な知識や技術の継承が重要であり、アウトソーシングの推進も必要である。 ・自然災害に強い強靱な施設の整備が必要である。 ・法非適用企業には、令和5年度までに公営企業会計への移行が求められている。
(3) 取組の方向性	<p>①業務の効率化、②施設投資の最適化、③技術力の確保等々広域連携による課題への対応策を検討していく。</p>
(4) その他	<p>○延べ5回にわたり開催した宮古広域ブロック検討会では、広域連携の方向性としては、段階的に広域連携を目指すことで一致し、第一段階として、会計システムや料金システムの賃貸借、施設の管理業務委託などの共同発注について検討を進めることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計システムや料金システムの賃貸借、施設の管理業務委託など、それぞれの市町村で長期継続契約を締結していることから、賃貸借・委託期間の調整が必要になる。 ・会計システムや料金システムについては、それぞれの市町村で採用しているシステムに違いがあり統一することが可能かどうか検討を要する。 ・施設の管理業務委託については、それぞれの市町村で受託業者に違いがあり、地元の業者が受託している状況もあることから、共同発注の可能性について検討が必要である。

岩手県水道事業広域連携検討会 検討結果【県北広域ブロック】

圏域名	県北
構成市町村名	久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町

1 検討会等の開催状況

年度	開催状況
平成28年度	連絡会議1回、検討会1回
平成29年度	情報交換会1回、見学会1回、打合せ等2回
平成30年度	研修会1回、見学会1回、応急給水訓練2回

2 検討結果

検討項目	内容
(1) 現状	<ul style="list-style-type: none"> ・職員不足により、少人数で多数の業務を抱えており、業務の負担が増加している。 ・広範囲な行政区域に給水区域や水道施設が点在している。 ・老朽施設・管路の修繕対応や水源管理に伴う業務が増加しているほか、緊急対応が可能な業者の確保が難しくなっている。 ・老朽化した施設・管路の更新や耐震化を図っていく必要がある。
(2) 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が不足している中で、人事異動に伴う技術の継承が困難となっており、体制の見直しのほか、業務委託や施設の共同化などの検討が必要である。 ・地理的条件から施設間や事業体間において、管路連結などの連携が困難な箇所が多く、施設の効率化や管理の省力化が図りにくい。 ・施設管理や緊急対応など、事業体ごとに直営や業務委託により対応しているところであり、業務の効率化のため、委託の共同化などの検討が必要である。 <p>また、事業体ごとに給水装置工事や施設管理、緊急対応などに関する基準が異なっていることから、連携を図るためには基準のすり合わせが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後予測されている人口減少に伴い、ダウンサイジングを図りながら効率的に施設の更新を図っていく必要がある。また、安定した給水を継続するため、施設の耐震化を図っていく必要があり、財源確保のため水道料金改定の検討が必要となっている。
(3) 取組の方向性	①業務の効率化、②施設投資の最適化、③技術力の確保等々広域連携による課題への対応策を検討していく。
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等を通じて、様々な広域連携の可能性について視野を広げる。 ・応急給水訓練等を通じて、緊急時の支援体制の確立を図る。 ・事業体ごとに異なる各種基準について、すり合わせの検討を行い、業務の共同化などの可能性について検討を行っていく。

資料- 1 水道施設数と給水人口

年度		S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H17 (2005)	H22 (2010)	H22※ (2010)	H27 (2015)	H28 (2016)
施設数	上水道	36	40	37	38	36	31	26	26
	簡易水道	219	192	195	190	180	129	110	108
	専用水道	51	54	34	43	124	127	125	126
	計	306	286	266	271	340	287	261	260
	水道用水供給事業	0	1	1	1	1	2	1	1
	飲料水供給施設	96	120	103	105	87	72	64	60
	合計	402	407	370	377	428	361	326	321
人口	行政区域内人口	1,427,204	1,413,241	1,416,726	1,411,769	1,377,504	1,312,522	1,271,822	1,261,031
	給水人口	1,110,353	1,174,740	1,237,788	1,266,530	1,264,266	1,196,016	1,191,427	1,185,151
普及率 (%)		77.8	83.1	87.4	89.7	91.8	91.1	93.7	94.0

資料- 2 水道の普及状況と施設数

圏域	項目 年度	②給水人口					③水道 普及率 %	④水道施設数				⑤用水供給	
		① 総人口 人	上水道 人	簡易水道 人	専用水道 人	合計 人		上水道 箇所	簡易水道 箇所	専用水道 箇所	合計 箇所	給水対象人口 千人	事業数 箇所
盛岡広域	2007	439,271	395,615	15,529	4,145	415,289	94.54	7	11	60	78	—	—
	2008	437,671	393,898	15,510	3,504	412,912	94.34	7	11	62	80	—	—
	2009	436,580	400,740	8,882	2,792	412,414	94.46	7	9	62	78	—	—
	2010	437,159	400,833	8,531	2,473	411,837	94.21	7	9	63	79	—	—
	2011	436,778	402,069	8,175	2,449	412,693	94.49	6	8	61	75	—	—
	2012	437,191	402,665	8,139	2,392	413,196	94.51	6	8	61	75	—	—
	2013	436,618	403,229	8,109	2,748	414,086	94.84	6	8	61	75	—	—
	2014	433,460	402,910	8,259	2,778	413,947	95.50	6	8	61	75	—	—
	2015	431,968	402,196	7,883	2,386	412,465	95.49	6	8	61	75	—	—
2016	430,260	401,396	7,844	2,061	411,301	95.59	6	8	61	75	—	—	
県南広域	2007	554,693	436,476	71,517	2,349	510,342	92.00	14	53	34	101	323,251	2
	2008	550,523	455,137	52,400	1,509	509,046	92.47	11	44	33	88	342,954	2
	2009	545,712	453,085	51,911	1,491	506,487	92.81	11	43	32	86	342,018	2
	2010	546,248	448,819	49,184	2,016	500,019	91.54	11	37	32	80	338,690	2
	2011	542,519	447,561	49,451	1,146	498,158	91.82	11	37	33	81	337,661	2
	2012	535,954	456,308	41,437	1,143	498,888	93.08	9	29	34	72	347,353	2
	2013	531,474	453,025	41,931	805	495,761	93.28	9	29	35	73	344,908	2
	2014	526,939	450,951	41,829	374	493,154	93.59	7	29	36	72	126,427	1
	2015	525,414	446,831	41,144	375	488,350	92.95	7	29	36	72	124,085	1
2016	518,180	443,843	40,397	611	484,851	93.57	7	29	36	72	123,822	1	
沿岸南部広域	2007	129,786	102,272	16,983	846	120,101	92.54	5	29	15	49	—	—
	2008	127,969	102,547	14,032	910	117,489	91.81	5	19	15	39	—	—
	2009	126,424	101,378	14,711	797	116,886	92.46	5	19	16	40	—	—
	2010	102,114	67,056	3,686	416	71,158	69.68	4	13	16	33	—	—
	2011	116,265	88,473	12,149	429	101,051	86.91	4	13	16	33	—	—
	2012	115,815	88,639	12,256	408	101,303	87.47	4	13	16	33	—	—
	2013	114,498	89,900	11,849	687	102,436	89.47	4	13	17	34	—	—
	2014	112,247	90,262	11,780	410	102,452	91.27	4	13	15	32	—	—
	2015	108,120	89,332	11,689	410	101,431	93.81	4	13	15	32	—	—
2016	109,133	90,631	11,337	410	102,378	93.81	4	12	16	32	—	—	
宮古広域	2007	96,976	64,466	27,084	938	92,488	95.37	2	39	8	49	—	—
	2008	95,428	63,875	25,938	676	90,489	94.82	2	33	8	43	—	—
	2009	94,888	63,362	25,811	685	89,858	94.70	2	33	8	43	—	—
	2010	94,126	62,626	21,399	584	84,609	89.89	2	33	8	43	—	—
	2011	90,604	60,173	23,755	792	84,720	93.51	2	33	7	42	—	—
	2012	89,158	59,475	23,269	778	83,522	93.68	2	33	7	42	—	—
	2013	88,104	58,983	22,695	745	82,423	93.55	2	33	6	41	—	—
	2014	84,630	58,441	22,277	728	81,446	96.24	2	33	6	41	—	—
	2015	85,624	61,099	18,406	655	80,160	93.62	2	25	6	33	—	—
2016	84,323	60,179	17,972	597	78,748	93.39	2	24	5	31	—	—	
県北広域	2007	134,918	90,122	26,290	213	116,625	86.44	8	42	9	59	—	—
	2008	132,719	90,637	26,801	215	117,653	88.65	7	42	9	58	—	—
	2009	130,953	89,162	25,976	211	115,349	88.08	7	42	9	58	—	—
	2010	132,875	90,243	23,790	605	114,638	86.28	7	37	8	52	—	—
	2011	130,441	89,488	23,632	606	113,726	87.19	7	37	8	52	—	—
	2012	126,966	88,787	23,657	192	112,636	88.71	7	37	9	53	—	—
	2013	125,817	87,909	23,240	196	111,345	88.50	7	35	8	50	—	—
	2014	121,956	87,307	22,693	184	110,184	90.35	7	35	7	49	—	—
	2015	120,696	86,423	22,422	176	109,021	90.33	7	35	7	49	—	—
2016	119,135	85,538	22,171	164	107,873	90.55	7	35	8	50	—	—	
合計	2007	1,355,644	1,088,951	157,403	8,491	1,254,893	92.57	36	174	126	336	323,251	2
	2008	1,344,310	1,106,094	134,681	6,814	1,247,589	92.81	32	149	127	308	342,954	2
	2009	1,334,557	1,107,727	127,291	5,976	1,240,994	92.99	32	146	125	303	342,018	2
	2010	1,312,522	1,069,577	106,590	6,094	1,196,016	91.12	31	129	127	287	338,690	2
	2011	1,316,607	1,087,764	117,162	5,422	1,210,348	91.93	30	128	125	283	337,661	2
	2012	1,305,084	1,095,874	108,758	4,913	1,209,545	92.68	28	120	127	275	347,353	2
	2013	1,296,511	1,093,046	107,824	5,181	1,206,051	93.02	28	118	127	273	344,908	2
	2014	1,279,232	1,089,871	106,838	4,474	1,201,183	93.90	26	118	125	269	126,427	1
	2015	1,271,822	1,085,881	101,544	4,002	1,191,427	93.68	26	110	125	261	124,085	1
2016	1,261,031	1,081,587	99,721	3,843	1,185,151	93.98	26	108	126	260	123,822	1	

出典：上水道：水道統計、簡易水道：簡易水道統計、専用水道：岩手県の水道概況

資料- 3 水源内訳の推移

(単位:千m³/年)

水道	年度	1985年度	1990年度	1995年度	2000年度	2005年度	2010年度	2015年度	2016年度
	水源								
上水道	表流水	61,581	68,719	71,460	75,719	72,684	65,979	73,194	72,059
	伏流水	12,339	13,286	8,060	8,516	7,892	6,771	4,771	5,010
	浅井戸	29,167	31,645	31,450	34,984	32,208	29,106	34,170	33,362
	深井戸	9,467	11,643	15,578	12,449	13,185	12,225	13,399	13,843
	湧水	2,294	2,909	7,960	11,415	14,194	16,843	15,726	14,957
	受水	0	147	7,284	6,533	7,315	9,986	4,950	4,448
	計	114,848	128,349	141,792	149,616	147,478	140,910	146,210	143,679
簡易水道	表流水	7,534	5,160	6,444	6,849	6,820	4,559	5,702	5,522
	伏流水	2,191	1,629	2,006	1,721	1,730	1,387	1,296	1,201
	浅井戸	4,125	3,867	4,163	5,546	6,361	4,540	4,555	4,379
	深井戸	410	679	1,222	1,160	646	371	467	463
	湧水	4,256	4,629	5,443	4,962	5,392	3,201	3,268	3,318
	受水	324	78	425	456	0	0	0	0
	計	18,840	16,042	19,703	20,694	20,948	14,058	15,287	14,883
合計	表流水	51.7%	51.2%	48%	48%	47%	46%	49%	49%
	伏流水	10.9%	10.3%	6%	6%	6%	5%	4%	4%
	浅井戸	24.9%	24.6%	22%	24%	23%	22%	24%	24%
	深井戸	7.4%	8.5%	10%	8%	8%	8%	9%	9%
	湧水	4.9%	5.2%	8%	10%	12%	13%	12%	12%
	受水	0.2%	0.2%	5%	4%	4%	6%	3%	3%
	計	100.0%	100.0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

出典：岩手県の水道概況

注) 水源

表流水：地表を流れている河川水

伏流水：河床や河川敷等の地中を流れている河川水

受水：他の水道事業若しくは水道用水供給事業から水の供給を受けるもの

資料- 4 県内のクリプトスポリジウム対策実施状況 (厚生労働省調査結果)

岩手県	A 調査対象施設 (か所)	B 対応が必要な 浄水施設数 (か所)	B/A (%)	C 対応済 浄水施設数 (か所)	C/B (%)	D 未対応 浄水施設数 (か所)	D/B (%)
2012年度	460	230	50.0	177	77.0	53	23.0
2013年度	455	233	51.2	177	76.0	56	24.0
2014年度	442	224	50.7	165	73.7	59	26.3
2015年度	434	226	52.1	168	74.3	58	25.7
2016年度	431	224	52.0	173	77.2	51	22.8

全国	A 調査対象施設 (か所)	B 対応が必要な 浄水施設数 (か所)	B/A (%)	C 対応済 浄水施設数 (か所)	C/B (%)	D 未対応 浄水施設数 (か所)	D/B (%)
2012年度	20,150	7,254	36.0	4,874	67.2	2,380	32.8
2013年度	20,150	7,368	36.6	5,030	68.3	2,338	31.7
2014年度	20,167	7,473	37.1	5,129	68.6	2,344	31.4
2015年度	19,961	7,451	37.3	5,138	68.8	2,327	31.2
2016年度	20,218	7,563	37.4	5,224	69.1	2,339	30.9

資料- 5 都道府県内簡易専用水道対策実施状況（厚生労働省調査結果）

岩手県	検査対象施設 (か所)	検査実施 施設数 (か所)	受検率 (%)	未受検率 (%)	検査指摘 施設数 (か所)	指摘率 (%)	報告 施設数 (か所)	報告率 (%)
2012年度	918	680	74.1	25.9	104	15.3	21	3.1
2013年度	1,697	1,236	72.8	27.2	228	18.4	107	8.7
2014年度	1,702	1,256	73.8	26.2	196	15.6	9	0.7
2015年度	1,768	1,295	73.2	26.8	184	14.2	12	0.9
2016年度	2,039	1,487	72.9	27.1	215	14.5	75	5.0

全国	検査対象施設 (か所)	検査実施 施設数 (か所)	受検率 (%)	未受検率 (%)	検査指摘 施設数 (か所)	指摘率 (%)	報告 施設数 (か所)	報告率 (%)
2012年度	213,558	167,995	78.7	21.3	43,964	26.2	756	0.5
2013年度	216,324	165,416	76.5	23.5	42,138	25.5	694	0.4
2014年度	213,386	163,019	76.4	23.6	39,440	24.2	575	0.4
2015年度	208,798	163,482	78.3	21.7	38,903	23.8	732	0.4
2016年度	207,260	162,543	78.4	21.6	37,943	23.3	1,167	0.7

資料- 6 都道府県内小規模貯水槽水道対策実施状況（厚生労働省調査結果）

岩手県	検査対象施設 (か所)	検査実施 施設数 (か所)	受検率 (%)	未受検率 (%)	検査指摘 施設数 (か所)	指摘率 (%)
2012年度	2,524	86	3.4	96.6	3	3.5
2013年度	2,097	78	3.7	96.3	2	2.6
2014年度	4,229	955	22.6	77.4	392	41.0
2015年度	4,383	1,026	23.4	76.6	401	39.1
2016年度	4,987	992	19.9	80.1	409	41.2

全国	検査対象施設 (か所)	検査実施 施設数 (か所)	受検率 (%)	未受検率 (%)	検査指摘 施設数 (か所)	指摘率 (%)
2012年度	873,345	27,710	3.2	96.8	8,127	29.3
2013年度	905,758	26,789	3.0	97.0	7,621	28.4
2014年度	861,707	26,714	3.1	96.9	7,547	28.3
2015年度	845,345	27,281	3.2	96.8	7,343	26.9
2016年度	840,170	26,304	3.1	96.9	6,673	25.4

資料- 7 水質検査体制の計画

圏域名	市町村名	年度 項目	平成21年度			平成26年度			平成30年度			平成40年度		
			自己 検査	共同 検査	委託	自己 検査	共同 検査	委託	自己 検査	共同 検査	委託	自己 検査	共同 検査	委託
北上川流域広域水道圏	盛岡市	ABCD			D	ABCD		D	ABCD		D	ABCD		D
	八幡平市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	雫石町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	岩手町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	滝沢市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	紫波町	A	ABCD											
	矢巾町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	花巻市	A	ABCD											
	北上市	AB	ABCD											
	西和賀町	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	奥州市	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	金ヶ崎町	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	一関市	ABCD	ABCD			ABCD	ABCD		ABCD	ABCD		ABCD	ABCD	
	平泉町	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	藤沢町	A	ABCD											
	遠野市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	岩手中部広域水道企業団	ABCD				ABCD			ABCD			ABCD		
奥州金ヶ崎行政事務組合	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD		
沿岸広域水道圏	大船渡市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	陸前高田市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	住田町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	釜石市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	大槌町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	宮古市	ABCD				ABCD			ABCD			ABCD		
	山田町	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	岩泉町	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	田野畑村	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
	普代村	A	ABCD			A	ABCD		A	ABCD		A	ABCD	
県北広域水道圏	久慈市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	洋野町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	野田村	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	二戸市	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	軽米町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	九戸村	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	一戸町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD
	葛巻町	A			ABCD	A		ABCD	A		ABCD	A		ABCD

検査項目の分類

A	pH、味、臭気、色度、濁度等
B	金属類等の吸光光度計、フレイムレス原子吸光光度計により測定する項目
C	一般有機化学物質用のパーティクルトラップーガスクロマトグラフィー質量分析計により測定する項目
D	農薬類等の高速液体クロマトグラフィーにより測定する項目

出典：「岩手県水道水質管理計画」平成26年3月

資料- 8 水安全計画の策定状況

〔上水道及び用水供給事業〕

圏域	事業者名	水安全計画		
		策定済	3年以内策定予定	未策定の理由
盛岡広域	盛岡市	○		
	八幡平市		○	
	滝沢市	○		
	雫石町		○	
	岩手町		○	
県南広域	矢巾町	○		
	遠野市		○	
	一関市		○	
	奥州市	○		
	金ヶ崎町		○	
	平泉町			策定を検討中
沿岸南部広域	岩手中部	○		
	奥州金ヶ崎		○	
	大船渡市			復興事業で繁忙のため
	陸前高田市			復興事業で繁忙のため
宮古広域	釜石市		○	
	大槌町			復興事業で繁忙のため
	宮古市		○	
県北広域	山田町			復興事業で繁忙のため
	久慈市		○	
	二戸市	○		
	葛巻町		○	
	軽米町			予算・人員確保が困難
	九戸村		○	
	洋野町		○	
	一戸町(一戸)		○	
一戸町(奥中山)		○		
合計(27事業)		6	15	

〔簡易水道事業〕

圏域	事業者名	水安全計画		
		策定済	3年以内策定予定	未策定の理由
盛岡広域	八幡平市		○	
	滝沢市			上水道に統合予定のため
	雫石町		○	
県南広域	遠野市		○	
	紫波町			上水道に統合予定のため
	西和賀町			上水道に統合予定のため
沿岸南部広域	平泉町			策定を検討中
	大船渡市			予算・人員確保が困難
	陸前高田市			復興事業で繁忙のため
	住田町			企業会計移行後策定予定
宮古広域	大槌町		○	
	宮古市		○	
県北広域	岩泉町			復興事業で繁忙のため
	田野畑村		○	
	久慈市		○	
	二戸市	○		
野田村	普代村		○	
	野田村		○	
合計(18市町村)		1	9	

出典：厚生労働省調査（2016年度）

資料- 9 職員の状況 (技術、事務、技能) 【上水道+用水供給】

(人)

圏域	①事業者名	②事務職						③技術職						④技能労務職						⑤計	
		30歳未満	30~40歳	40~50歳	50~60歳	60歳以上	計	30歳未満	30~40歳	40~50歳	50~60歳	60歳以上	計	30歳未満	30~40歳	40~50歳	50~60歳	60歳以上	計		
盛岡広域	上水道	盛岡市	7	3	15	7	1	33	8	13	37	18	24	100	0	0	0	0	0	0	133
		八幡平市	2	1	1	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	6
		滝沢市	2	1	3	2	0	8	0	3	3	5	0	11	0	0	0	0	0	0	19
		雫石町	0	1	0	2	0	3	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5
		岩手町	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		矢巾町	4	3	1	2	0	10	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	11
	小計	15	9	21	14	1	60	8	17	42	24	24	115	0	0	0	1	0	1	176	
県南広域	上水道	遠野市	0	0	2	0	1	3	0	0	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	7
		一関市(一関)	1	3	4	8	1	17	3	1	8	4	1	17	0	0	0	1	0	1	35
		一関市(藤沢)	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		奥州市	0	1	5	2	1	9	1	3	10	4	1	19	0	0	0	0	0	0	28
		金ヶ崎町	0	0	2	2	0	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
		平泉町	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
		岩手中部水道企業団	1	15	7	5	0	28	0	7	13	20	4	44	0	0	0	0	0	0	72
		奥州金ヶ崎行政事務組合	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	小計	2	19	20	21	3	65	5	11	36	31	6	89	0	0	0	1	0	1	155	
沿岸南部広域	上水道	大船渡市	1	0	4	2	0	7	1	0	2	2	0	5	0	0	0	0	0	0	12
		陸前高田市	1	1	3	1	1	7	0	1	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	11
		釜石市	1	2	3	2	0	8	0	2	0	2	1	5	0	0	0	0	0	0	13
		大槌町	2	0	2	0	1	5	0	0	2	2	1	5	0	0	0	0	0	0	10
	小計	5	3	12	5	2	27	1	3	5	7	3	19	0	0	0	0	0	0	46	
宮古広域	上水道	宮古市	2	0	4	3	0	9	2	2	9	3	2	18	0	0	0	0	0	0	27
		山田町	1	1	0	1	1	4	0	1	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	8
		小計	3	1	4	4	1	13	2	3	10	4	3	22	0	0	0	0	0	0	35
県北広域	上水道	久慈市	3	2	1	0	0	6	0	4	0	2	0	6	0	0	0	0	0	0	12
		二戸市	1	0	3	0	0	4	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
		軽米町	1	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
		九戸村	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
		洋野町	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
		一戸町(一戸)	0	2	1	1	0	4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
		一戸町(奥中山)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	6	5	6	3	0	20	0	5	3	5	0	13	0	0	0	0	0	0	33		
合計	31	37	63	47	7	185	16	39	96	71	36	258	0	0	0	2	0	2	445		

出典：水道統計 (2016年度)

資料- 10 委託の状況（第三者委託、業務委託）

圏域	事業者名	第三者委託	業務委託の有無					
			取導水施設	浄水施設	送配水施設	料金徴収	その他	
盛岡広域	盛岡市			○	○	○	○	○
	八幡平市		○	○	○			○
	滝沢市			○	○	○	○	
	栗石町		○	○	○			
	岩手町				○	○		○
県南広域	矢巾町							
	花巻市							
	北上市							
	遠野市		○	○	○	○		○
	一関市		○	○	○			
	奥州市			○	○	○		○
	紫波町							○
	西和賀町							
	金ケ崎町				○		○	
平泉町								
岩手中部水道企業団	○			○	○	○		
奥州金ケ崎行政事務組合				○				
沿岸南部広域	大船渡市		○	○	○	○		○
	陸前高田市							○
	釜石市							○
	住田町		○	○		○		
	大槌町							
宮古広域	宮古市			○	○	○		○
	山田町			○	○			○
	岩泉町		○	○				
	田野畑村		○	○	○			○
県北広域	久慈市			○				○
	二戸市	○						○
	葛巻町					○		○
	普代村			○	○	○		○
	軽米町			○	○			○
	野田村							
	九戸村			○				○
	洋野町		○	○	○	○		○
一戸町			○		○	○		
委託の有無の数		2	9	23	17	13		19

※簡水と上水があるところについては、それぞれを合わせた結果を表示

資料- 11 水道事業ビジョン、アセットマネジメント等の策定状況【上水道+用水供給】

圏域	事業者名	水道事業ビジョン			アセットマネジメント					個別施設毎の長寿命化計画	
		策定済	策定予定	未策定	実施済	実施中 (精度向上等)	実施中 (新規)	未実施	水道事業ビジョン等への反映	策定済	未策定
盛岡広域	盛岡市	○			○				反映済	○	
	八幡平市	○						○	—		○
	滝沢市	○			○				反映済	○	
	雫石町		○					○	—		○
	岩手町	○			○				反映済		○
県南広域	矢巾町	○			○				反映済	○	
	遠野市	○				○			改定中	○	
	一関市	○			○				反映済	○	
	奥州市	○					○		—		○
	金ケ崎町	○						○	—		○
	平泉町	○					○		—	○	
	岩手中部	○			○				反映済	○	
沿岸南部広域	奥州金ケ崎		○				○		—	○	
	大船渡市			○		○			なし		○
	陸前高田市			○				○	—		○
	釜石市	○			○				反映済	○	
宮古広域	大槌町	○			○				なし	○	
	宮古市	○			○				反映済		○
県北広域	山田町			○				○	—		○
	久慈市	○			○				反映済	○	
	二戸市	○							策定中		○
	葛巻町	○						○	—		○
	軽米町	○					○		—		○
	九戸村		○				○		—		○
	洋野町			○				○	—		○
合計 (27事業)		20	3	4	12	2	5	7	—	11	16

出典：厚生労働省調査（2016年度）

資料- 12 水道施設台帳の整備状況【上水道+用水供給】

圏域	事業者名	水道施設台帳の整備				施設台帳の整備状況	
		整備している	概ね整備している	あまり整備していない	整備していない	管路情報	水道施設
盛岡広域	盛岡市	○				マッピング・紙	管理システム・紙
	八幡平市		○			マッピング	紙
	滝沢市		○			マッピング・紙	管理システム
	雫石町		○			紙	紙
	岩手町			○		マッピング	紙
県南広域	矢巾町		○			マッピング・紙	管理システム・紙
	遠野市		○			マッピング・紙	紙
	一関市		○			マッピング	管理システム・紙
	奥州市		○			マッピング	管理システム
	金ケ崎町		○			マッピング・紙	管理システム・紙
	平泉町		○			紙	紙
	岩手中部		○			マッピング	管理システム・紙
	奥州金ケ崎			○		マッピング・紙	紙
沿岸南部広域	大船渡市	○				紙	紙
	陸前高田市		○			マッピング	なし
	釜石市		○			マッピング・紙	紙
宮古広域	大槌町		○			マッピング	紙
	宮古市		○			マッピング・紙	管理システム・紙
県北広域	山田町		○			マッピング・紙	管理システム・紙
	久慈市		○			マッピング	紙
	二戸市		○			マッピング・紙	紙
	葛巻町	○				マッピング	管理システム・紙
	軽米町				○	マッピング・紙	紙
	九戸村		○			マッピング・紙	紙
	洋野町			○		マッピング・紙	管理システム・紙
合計 (27事業)		3	20	3	1		

※マッピング：マッピングシステムのことであり、地形情報や管路情報をデータベース化したもの

出典：厚生労働省調査（2016年度）

資料- 13 (1) 管種別での管路布設状況【上水道+用水供給】

[全域]

管種		導水管 (m)	送水管 (m)	配水管(m)			計 (m)
				配水本管	配水支管	小計	
鑄	鉄管	5,143	14,691	7,315	299,328	306,643	326,477
ダクタ イル 鑄鉄管	耐震型継手	26,209	122,527	79,332	897,740	977,072	1,125,808
	K形継手等の良地盤※	66,523	196,611	83,447	925,176	1,008,623	1,271,757
	上記以外	79,341	250,597	146,019	3,339,797	3,485,816	3,815,754
	計	172,073	569,735	308,798	5,162,713	5,471,511	6,213,319
鋼管	溶接継手	5,775	35,208	3,588	45,355	48,943	89,926
	上記以外	7,196	17,708	961	66,242	67,203	92,107
	計	12,971	52,916	4,549	111,597	116,146	182,033
石綿	セメント管	6,667	2,774	7,349	29,405	36,754	46,195
硬質ポリ 塩化 ビニル管	RRロング継手	0	15	0	3,939	3,939	3,954
	上記以外	51,315	37,533	1,749	3,960,868	3,962,617	4,051,465
	計	51,315	37,548	1,749	3,964,807	3,966,556	4,055,419
コンクリート管		1,750	0	0	0	0	1,750
鉛管		0	0	0	0	0	0
ポリエチ レン管	高密度、熱融着継手	7,942	15,071	418	312,230	312,648	335,661
	上記以外	2,597	13,293	0	517,918	517,918	533,808
	計	10,539	28,364	418	830,148	830,566	869,469
ステン レス管	高密度、熱融着継手	147	696	1,243	14,240	15,483	16,326
	上記以外	82	579	858	5,484	6,342	7,003
	計	229	1,275	2,101	19,724	21,825	23,329
その他		989	493	3,988	28,542	32,530	34,012
管路延長計		261,676	707,796	336,267	10,446,264	10,782,531	11,752,003

※K形継手等を有するもののうち良い地盤に布設されている

[盛岡広域]

管種		導水管 (m)	送水管 (m)	配水管(m)			計 (m)
				配水本管	配水支管	小計	
鑄	鉄管	1,756	4,347	2,718	47,642	50,360	56,463
ダクタ イル 鑄鉄管	耐震型継手	5,844	13,801	40,840	410,386	451,226	470,871
	K形継手等の良地盤※	26,171	12,729	42,928	388,965	431,893	470,793
	上記以外	21,196	24,826	53,595	786,823	840,418	886,440
	計	53,211	51,356	137,363	1,586,174	1,723,537	1,828,104
鋼管	溶接継手	633	1,243	860	4,281	5,141	7,017
	上記以外	1,608	734	600	10,329	10,929	13,271
	計	2,241	1,977	1,460	14,610	16,070	20,288
石綿	セメント管	724	0	0	2,389	2,389	3,113
硬質ポリ 塩化 ビニル管	RRロング継手	0	0	0	0	0	0
	上記以外	16,487	4,167	0	575,749	575,749	596,403
	計	16,487	4,167	0	575,749	575,749	596,403
コンクリート管		1,326	0	0	0	0	1,326
鉛管		0	0	0	0	0	0
ポリエチ レン管	高密度、熱融着継手	3,075	4,431	72	83,402	83,474	90,980
	上記以外	0	0	0	89,926	89,926	89,926
	計	3,075	4,431	72	173,328	173,400	180,906
ステン レス管	高密度、熱融着継手	57	98	0	213	213	368
	上記以外	7	11	183	567	750	768
	計	64	109	183	780	963	1,136
その他		197	0	0	3,088	3,088	3,285
管路延長計		79,081	66,387	141,796	2,403,760	2,545,556	2,691,024

※K形継手等を有するもののうち良い地盤に布設されている

出典：水道統計（2016年度）

資料- 13 (2) 管種別での管路布設状況【上水道+用水供給】

〔県南広域〕

管種		導水管 (m)	送水管 (m)	配水管(m)			計 (m)
				配水本管	配水支管	小計	
鑄鉄管		496	3,606	3,829	53,255	57,084	61,186
ダクタイル 鑄鉄管	耐震型継手	11,305	87,767	35,063	364,483	399,546	498,618
	K形継手等の良地盤※	30,193	94,033	33,543	267,422	300,965	425,191
	上記以外	44,790	143,233	64,834	1,761,281	1,826,115	2,014,138
	計	86,288	325,033	133,440	2,393,186	2,526,626	2,937,947
鋼管	溶接継手	656	30,452	1,635	26,597	28,232	59,340
	上記以外	3,602	5,118	361	17,347	17,708	26,428
	計	4,258	35,570	1,996	43,944	45,940	85,768
石綿セメント管		3,420	2,454	7,349	19,527	26,876	32,750
硬質ポリ塩化 ビニル管	RRロング継手	0	15	0	3,883	3,883	3,898
	上記以外	20,787	14,967	121	2,744,517	2,744,638	2,780,392
	計	20,787	14,982	121	2,748,400	2,748,521	2,784,290
コンクリート管		385	0	0	0	0	385
鉛管		0	0	0	0	0	0
ポリエチレン管	高密度、熱融着継手	2,519	6,569	17	160,438	160,455	169,543
	上記以外	720	5,420	0	326,869	326,869	333,009
	計	3,239	11,989	17	487,307	487,324	502,552
ステンレス管	高密度、熱融着継手	90	556	1,243	10,904	12,147	12,793
	上記以外	0	0	621	838	1,459	1,459
	計	90	556	1,864	11,742	13,606	14,252
その他		792	3	66	10,090	10,156	10,951
管路延長計		119,755	394,193	148,682	5,767,451	5,916,133	6,430,081

※K形継手等を有するもののうち良い地盤に布設されている

〔沿岸南部広域〕

管種		導水管 (m)	送水管 (m)	配水管(m)			計 (m)
				配水本管	配水支管	小計	
鑄鉄管		2,253	5,193	0	162,393	162,393	169,839
ダクタイル 鑄鉄管	耐震型継手	2,532	14,742	0	70,061	70,061	87,335
	K形継手等の良地盤※	88	15,422	0	149,698	149,698	165,208
	上記以外	3,541	32,244	0	226,285	226,285	262,070
	計	6,161	62,408	0	446,044	446,044	514,613
鋼管	溶接継手	62	42	0	8,090	8,090	8,194
	上記以外	1,493	8,357	0	25,430	25,430	35,280
	計	1,555	8,399	0	33,520	33,520	43,474
石綿セメント管		1,525	0	0	5,064	5,064	6,589
硬質ポリ塩化 ビニル管	RRロング継手	0	0	0	56	56	56
	上記以外	1,967	3,519	0	97,822	97,822	103,308
	計	1,967	3,519	0	97,878	97,878	103,364
コンクリート管		0	0	0	0	0	0
鉛管		0	0	0	0	0	0
ポリエチレン管	高密度、熱融着継手	2,175	15	0	10,770	10,770	12,960
	上記以外	0	7,550	0	56,497	56,497	64,047
	計	2,175	7,565	0	67,267	67,267	77,007
ステンレス管	高密度、熱融着継手	0	42	0	499	499	541
	上記以外	26	23	0	828	828	877
	計	26	65	0	1,327	1,327	1,418
その他		0	0	3,922	15,049	18,971	18,971
管路延長計		15,662	87,149	3,922	828,542	832,464	935,275

※K形継手等を有するもののうち良い地盤に布設されている

出典：水道統計（2016年度）

資料- 13 (3) 管種別での管路布設状況【上水道+用水供給】

〔宮古広域〕

管種		導水管 (m)	送水管 (m)	配水管(m)			計 (m)
				配水本管	配水支管	小計	
鑄鉄管		430	470	768	26,952	27,720	28,620
ダクタイル 鑄鉄管	耐震型継手	847	2,736	2,103	39,896	41,999	45,582
	K形継手等の良地盤※	831	3,049	0	3,633	3,633	7,513
	上記以外	4,583	7,694	14,232	197,258	211,490	223,767
	計	6,261	13,479	16,335	240,787	257,122	276,862
鋼管	溶接継手	155	729	1,093	1,917	3,010	3,894
	上記以外	403	104	0	6,985	6,985	7,492
	計	558	833	1,093	8,902	9,995	11,386
石綿セメント管		786	0	0	104	104	890
硬質ポリ塩化 ビニル管	RRロング継手	0	0	0	0	0	0
	上記以外	0	1,438	0	119,998	119,998	121,436
	計	0	1,438	0	119,998	119,998	121,436
コンクリート管		0	0	0	0	0	0
鉛管		0	0	0	0	0	0
ポリエチレン管	高密度、熱融着継手	0	0	0	6,535	6,535	6,535
	上記以外	0	0	0	31,656	31,656	31,656
	計	0	0	0	38,191	38,191	38,191
ステンレス管	高密度、熱融着継手	0	0	0	0	0	0
	上記以外	23	0	36	842	878	901
	計	23	0	36	842	878	901
その他		0	490	0	279	279	769
管路延長計		8,058	16,710	18,232	436,055	454,287	479,055

※K形継手等を有するもののうち良い地盤に布設されている

〔県北広域〕

管種		導水管 (m)	送水管 (m)	配水管(m)			計 (m)
				配水本管	配水支管	小計	
鑄鉄管		208	1,075	0	9,086	9,086	10,369
ダクタイル 鑄鉄管	耐震型継手	5,681	3,481	1,326	12,914	14,240	23,402
	K形継手等の良地盤※	9,240	71,378	6,976	115,458	122,434	203,052
	上記以外	5,231	42,600	13,358	368,150	381,508	429,339
	計	20,152	117,459	21,660	496,522	518,182	655,793
鋼管	溶接継手	4,269	2,742	0	4,470	4,470	11,481
	上記以外	90	3,395	0	6,151	6,151	9,636
	計	4,359	6,137	0	10,621	10,621	21,117
石綿セメント管		212	320	0	2,321	2,321	2,853
硬質ポリ塩化 ビニル管	RRロング継手	0	0	0	0	0	0
	上記以外	12,074	13,442	1,628	422,782	424,410	449,926
	計	12,074	13,442	1,628	422,782	424,410	449,926
コンクリート管		39	0	0	0	0	39
鉛管		0	0	0	0	0	0
ポリエチレン管	高密度、熱融着継手	173	4,056	329	51,085	51,414	55,643
	上記以外	1,877	323	0	12,970	12,970	15,170
	計	2,050	4,379	329	64,055	64,384	70,813
ステンレス管	高密度、熱融着継手	0	0	0	2,624	2,624	2,624
	上記以外	26	545	18	2,409	2,427	2,998
	計	26	545	18	5,033	5,051	5,622
その他		0	0	0	36	36	36
管路延長計		39,120	143,357	23,635	1,010,456	1,034,091	1,216,568

※K形継手等を有するもののうち良い地盤に布設されている

出典：水道統計（2016年度）

資料- 14 管種別での管路布設状況【簡易水道】

管種	盛岡広域 (m)	県南広域 (m)	沿岸南部広域 (m)	宮古広域広域 (m)	県北 (m)	計 (m)
鑄鉄管	0	17,395	98	8,890	5,165	31,548
ダクタイル鑄鉄管	144,011	640,098	77,163	174,004	105,839	1,141,115
鋼管	543	13,209	7,570	13,054	17,719	52,095
石綿セメント管	0	1,899	199	1,298	29,119	32,515
硬質ポリ塩化ビニル管	125,565	745,882	111,441	228,645	304,446	1,515,979
コンクリート管	1,920	0	0	0	0	1,920
鉛管	0	0	0	0	0	0
ポリエチレン管	31,942	181,735	26,662	57,534	66,291	364,164
その他	0	5,857	264	1,511	420	8,052
管路延長計	303,981	1,606,075	223,397	484,936	528,999	3,147,388

出典：簡易水道統計（2016年度）

資料- 15 耐用年数を超過した管路の割合【上水道+用水供給】

〔全域〕

区分	全体 (m)	法定耐用年数(40年)超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	11,752,003	990,284	8.4	100.0
導水管	261,676	39,179	15.0	4.0
送水管	707,796	55,995	7.9	5.7
配水管本管	336,267	52,812	15.7	5.3
配水管支管	10,446,264	842,298	8.1	85.1

〔盛岡広域〕

区分	全体 (m)	法定耐用年数(40年)超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	2,691,024	290,729	10.8	100.0
導水管	79,081	11,605	14.7	4.0
送水管	66,387	15,294	23.0	5.3
配水管本管	141,796	32,951	23.2	11.3
配水管支管	2,403,760	230,879	9.6	79.4

〔県南広域〕

区分	全体 (m)	法定耐用年数(40年)超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	6,430,081	469,293	7.3	100.0
導水管	119,755	17,239	14.4	3.7
送水管	394,193	26,629	6.8	5.7
配水管本管	148,682	13,306	8.9	2.8
配水管支管	5,767,451	412,119	7.1	87.8

〔沿岸南部広域〕

区分	全体 (m)	法定耐用年数(40年)超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	935,275	72,061	7.7	100.0
導水管	15,662	2,646	16.9	3.7
送水管	87,149	8,105	9.3	11.2
配水管本管	3,922	0	0.0	0.0
配水管支管	828,542	61,310	7.4	85.1

〔宮古広域〕

区分	全体 (m)	法定耐用年数(40年)超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	479,055	96,795	20.2	100.0
導水管	8,058	1,747	21.7	1.8
送水管	16,710	2,082	12.5	2.2
配水管本管	18,232	6,555	36.0	6.8
配水管支管	436,055	86,411	19.8	89.3

〔県北広域〕

区分	全体 (m)	法定耐用年数(40年)超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	1,216,568	61,406	5.0	100.0
導水管	39,120	5,942	15.2	9.7
送水管	143,357	3,885	2.7	6.3
配水管本管	23,635	0	0.0	0.0
配水管支管	1,010,456	51,579	5.1	84.0

出典：水道統計（2016年度）

資料- 16 経年管の割合【上水道+用水供給】

〔全域〕

区分	全体 (m)	20年超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	11,752,003	6,649,396	56.6	100.0
導水管	261,676	165,835	63.4	2.5
送水管	707,796	427,937	60.5	6.4
配水管本管	336,267	207,390	61.7	3.1
配水管支管	10,446,264	5,848,234	56.0	88.0

〔盛岡広域〕

区分	全体 (m)	20年超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	2,691,024	1,719,036	63.9	100.0
導水管	79,081	52,225	66.0	3.0
送水管	66,387	49,564	74.7	2.9
配水管本管	141,796	93,613	66.0	5.4
配水管支管	2,403,760	1,523,634	63.4	88.6

〔県南広域〕

区分	全体 (m)	20年超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	6,430,081	3,754,911	58.4	100.0
導水管	119,755	76,665	64.0	2.0
送水管	394,193	259,598	65.9	6.9
配水管本管	148,682	87,092	58.6	2.3
配水管支管	5,767,451	3,331,556	57.8	88.7

〔沿岸南部広域〕

区分	全体 (m)	20年超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	935,275	384,565	41.1	100.0
導水管	15,662	7,458	47.6	1.9
送水管	87,149	36,204	41.5	9.4
配水管本管	3,922	0	0.0	0.0
配水管支管	828,542	340,903	41.1	88.6

〔宮古広域〕

区分	全体 (m)	20年超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	479,055	304,350	63.5	100.0
導水管	8,058	6,532	81.1	2.1
送水管	16,710	8,566	51.3	2.8
配水管本管	18,232	15,126	83.0	5.0
配水管支管	436,055	274,126	62.9	90.1

〔県北広域〕

区分	全体 (m)	20年超過		管路別割合 (%)
		延長(m)	超過割合(%)	
全体	1,216,568	486,534	40.0	100.0
導水管	39,120	22,955	58.7	4.7
送水管	143,357	74,005	51.6	15.2
配水管本管	23,635	11,559	48.9	2.4
配水管支管	1,010,456	378,015	37.4	77.7

出典：水道統計（2016年度）

資料- 17 新設管及び布設替えに伴う布設・撤去の状況【上水道＋用水供給】

(単位:m)

管種	導・送水管			配水管			合計		
	新設管	更新布設管	更新撤去管	新設管	更新布設管	更新撤去管	新設管	更新布設管	更新撤去管
鑄鉄管	-	-	372	-	-	6,369	-	-	6,741
ダクタイル鑄鉄管	3,843	2,149	1,656	37,401	42,718	20,693	41,244	44,867	22,349
鋼管	0	274	41	106	18	2,898	106	292	2,939
石綿セメント管	-	-	0	-	-	2,804	-	-	2,804
硬質塩化ビニル管	7	5	2,722	2,183	3,921	39,531	2,190	3,926	42,253
コンクリート管	0	0	2,078	0	0	0	0	0	2,078
ポリエチレン管	0	1,009	0	14,325	11,615	1,152	14,325	12,624	1,152
ステンレス管	39	0	0	245	174	254	284	174	254
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3,889	3,437	6,869	54,260	58,446	73,701	58,149	61,883	80,570

出典：水道統計（2016年度）

資料- 18 施設の耐震対策実施状況【上水道＋用水供給】

施設の種類	単位	ランクA			ランクB				
		L2対応	L2未対応	対応状況不明 (耐震性能確認未実施)	L2対応 L1対応	L2未対応 L1未対応	L2未対応 L1対応	対応状況不明 (耐震性能確認未実施)	
全域	浄水施設 <能力>	(m ³ /日)	156,938	299,022	101,405	-	-	-	-
	ポンプ場 <能力>	(m ³ /日)	205,560	293,141	102,232	51,381	7,943	12,204	82,562
	配水池 <容量>	(m ³ /日)	128,864	129,342	63,509	7,523	4,756	5,657	13,572
盛岡 広域	浄水施設 <能力>	(m ³ /日)	36,098	136,159	13,900	-	-	-	-
	ポンプ場 <能力>	(m ³ /日)	126,792	85,242	0	1,000	2,800	0	2,000
	配水池 <容量>	(m ³ /日)	42,463	51,918	10,190	0	322	0	3,380
県南 広域	浄水施設 <能力>	(m ³ /日)	103,018	96,040	45,373	-	-	-	-
	ポンプ場 <能力>	(m ³ /日)	73,365	105,769	84,290	29,112	405	12,203	70,879
	配水池 <容量>	(m ³ /日)	75,647	31,056	35,338	3,565	4,373	2,400	8,667
沿岸南 部広域	浄水施設 <能力>	(m ³ /日)	944	23,483	20,796	-	-	-	-
	ポンプ場 <能力>	(m ³ /日)	880	25,185	17,942	21,268	0	0	9,683
	配水池 <容量>	(m ³ /日)	2,010	23,530	3,144	3,958	0	3,257	0
宮古 広域	浄水施設 <能力>	(m ³ /日)	1,238	32,886	0	-	-	-	-
	ポンプ場 <能力>	(m ³ /日)	122	46,419	0	0	4,738	0	0
	配水池 <容量>	(m ³ /日)	1,175	18,815	0	0	61	0	0
県北 広域	浄水施設 <能力>	(m ³ /日)	15,640	10,454	21,336	-	-	-	-
	ポンプ場 <能力>	(m ³ /日)	4,401	30,526	0	1	0	1	0
	配水池 <容量>	(m ³ /日)	7,569	4,023	14,837	0	0	0	1,525

出典：水道統計（2016年度）

資料- 19 耐震化計画の策定状況【上水道+用水供給】

圏域	事業者名	基幹管路		浄水場・配水場等		
		有	無	有	無	耐震化済
盛岡 広域	盛岡市	○		○		
	八幡平市		○		○	
	滝沢市	○		○		
	雫石町		○			○
	岩手町	○			○	
	矢巾町	○			○	
県南 広域	遠野市	○		○		
	一関市		○	○		
	奥州市	○		○		
	金ケ崎町		○		○	
	平泉町		○		○	
	岩手中部		○	○		
	奥州金ケ崎		○			○
沿岸 南部 広域	大船渡市		○		○	
	陸前高田市		○		○	
	釜石市		○		○	
	大槌町		○		○	
宮古 広域	宮古市	○			○	
	山田町		○		○	
県北 広域	久慈市		○		○	
	二戸市	○		○		
	葛巻町		○		○	
	軽米町		○		○	
	九戸村		○		○	
	洋野町		○		○	
	一戸町（一戸）		○		○	
	一戸町（奥中山）		○		○	
合計（27事業）		8	19	7	18	2

出典：厚生労働省調査（2016年度）

資料- 20 水道に特化した危機管理対策マニュアル類の策定状況【上水道+用水供給】

圏域	事業者名	水道に特化した危機管理対策マニュアル類の策定状況			
		策定済	策定中	今後策定予定	未策定
盛岡 広域	盛岡市	○			
	八幡平市			○	
	滝沢市	○			
	雫石町				○
	岩手町				○
	矢巾町	○			
県南 広域	遠野市				○
	一関市	○			
	奥州市	○			
	金ヶ崎町				○
	平泉町	○			
	岩手中部	○			
	奥州金ヶ崎	○			
沿岸 南部 広域	大船渡市				○
	陸前高田市				○
	釜石市		○		
	大槌町				○
宮古 広域	宮古市	○			
	山田町				○
県北 広域	久慈市			○	
	二戸市	○			
	葛巻町				○
	軽米町				○
	九戸村			○	
	洋野町				○
	一戸町（一戸）				○
	一戸町（奥中山）				○
合計（27事業）		10	1	3	13

出典：厚生労働省調査（2016年度）

資料- 21 緊急時貯水槽の整備状況【上水道＋用水供給】

圏域	事業者名	緊急貯水槽 の総容量 (m ³)	緊急遮断弁 設置配水池 の総貯水容量 (m ³)	① 合計 (m ³)	② 給水人口 (人)	①/② (L/人)
盛岡 広域	盛岡市	200	32,504	32,704	286,206	114
	八幡平市	0	800	800	18,427	43
	滝沢市	40	4,876	4,916	50,213	98
	雫石町	0	0	0	11,070	0
	岩手町	0	227	227	9,462	24
	矢巾町	0	4,100	4,100	29,568	139
県南 広域	遠野市	0	4,404	4,404	18,986	232
	一関市	240	3,309	3,549	105,229	34
	奥州市	0	3,645	3,645	106,635	34
	金ケ崎町	0	0	0	15,464	0
	平泉町	0	0	0	5,332	0
	岩手中部	40	19,124	19,164	215,258	89
	奥州金ケ崎	0	0	0	—	—
沿岸 南部 広域	大船渡市	0	0	0	29,152	0
	陸前高田市	0	5,448	5,448	17,173	317
	釜石市	0	6,890	6,890	34,802	198
	大槌町	0	0	0	11,243	0
宮古 広域	宮古市	80	4,070	4,150	45,120	92
	山田町	40	2,669	2,709	15,059	180
県北 広域	久慈市	0	7,466	7,466	32,204	232
	二戸市	0	1,000	1,000	22,645	44
	葛巻町	0	270	270	6,029	45
	軽米町	0	0	0	6,901	0
	九戸村	0	115	115	5,503	21
	洋野町	0	1,447	1,447	13,348	108
	一戸町(一戸)	0	1,500	1,500	6,756	222
	一戸町(奥中山)	0	1,500	1,500	3,936	381
合計(27事業)		640	105,364	106,004	1,121,721	95

出典：厚生労働省調査(2016年度)

資料- 22 東日本大震災津波 断水等状況 (最終)

圏域	被害事業者名	断水等の戸数影響	復旧戸数	復旧困難戸数	圏域	被害事業者名	断水等の戸数影響	復旧戸数	復旧困難戸数
盛岡広域	盛岡市	28,100	28,100	—	沿岸南部広域	大船渡市	15,600	13,000	2,600
	滝沢市	20	20	—		陸前高田市	8,000	4,338	3,662
	雫石町	68	68	—		釜石市	8,700	3,921	4,779
	岩手町	3,815	3,815	—		大槌町	5,605	2,497	3,108
	矢巾町	200	200	—	宮古広域	宮古市	21,388	17,929	3,459
県南広域	花巻市	976	976	—		山田町	6,000	3,000	3,000
	北上市	16,480	16,480	—		岩泉町	188	148	40
	遠野市	850	850	—		田野畑村	395	213	182
	一関市	42,870	42,870	—	県北広域	久慈市	14,034	14,034	—
	奥州市	13,470	13,470	—		二戸市	40	40	—
	紫波町	175	175	—		葛巻町	72	72	—
	西和賀町	478	478	—		普代村	92	92	—
	金ヶ崎町	50	50	—		野田村	801	470	331
	藤沢町	戸数不明	戸数不明	—		洋野町	100	100	—
	平泉町	100	100	—		一戸町	5	5	—
						計	188,672	167,511	21,161
					事業者数	30			

資料- 23 東日本大震災津波 災害復旧事業による災害査定額

圏域	事業者名	区分	取水施設	貯水施設	導水施設	浄水施設	送水施設	配水施設	給水施設	調査費	応急復旧	合計
県内広域	遠野市	上水	0	0	0	100,516	0	0	0	0	1,403	101,919
	一関市	上水	0	0	681	0	5,216	239,554	448	2,379	18,143	266,421
	奥州市	上水	0	0	0	0	0	32,363	57	0	4,120	36,540
沿岸南部広域	大船渡市	上水	45,000	624	0	0	91,342	2,604,307	364,344	53,566	27,089	3,186,272
		簡水	0	0	0	0	20,160	487,360	75,708	33,075	0	616,303
	陸前高田市	上水	0	99,850	157,920	0	38,385	4,101,916	407,659	77,117	652,392	5,535,239
	釜石市	上水	131,867	124,173	3,225	2,992	321,138	3,326,818	505,632	69,306	9,241	4,494,392
		飲供	0	0	0	0	0	3,556	332	1,680	0	5,568
大槌町	上水	0	0	0	0	147,248	1,741,929	345,919	48,163	22,451	2,305,710	
宮古広域	宮古市	上水	19,638	0	42,810	139,033	0	2,532,340	419,056	50,842	6,696	3,210,415
		簡水	0	0	76,700	0	138,705	2,911,869	460,886	87,885	0	3,676,045
	山田町	上水	0	0	56,760	403,343	0	74,564	6,742	0	10,275	551,684
	岩泉町	簡水	0	0	0	0	0	19,856	0	0	0	19,856
田野畑村	簡水	0	0	0	0	0	50,367	6,065	0	53,699	110,131	
県北広域	久慈市	上水	0	0	0	0	0	55,501	0	0	851	56,352
		簡水	0	0	0	0	0	0	0	0	3,150	3,150
	野田村	簡水	0	0	0	0	0	301,831	33,072	8,095	3,898	346,896
	洋野町	上水	0	0	0	0	0	7,898	0	0	0	7,898
上水道		196,505	224,647	261,396	645,884	603,329	14,717,190	2,049,857	301,373	752,661	19,752,842	
簡易水道・飲料水供給施設		0	0	76,700	0	158,865	3,774,839	576,063	130,735	60,747	4,777,949	
合計		196,505	224,647	338,096	645,884	762,194	18,492,029	2,625,920	432,108	813,408	24,530,791	
通常査定		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特例査定		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

資料- 24 平成28年台風第10号 災害復旧事業による災害査定額

(千円)

圏域	事業者名	区分	合計
沿岸南部広域	大 槌 町	上水	3,553
宮古広域	宮 古 市	上水	10,465
		簡水	121,560
		飲供	27,563
	岩 泉 町	簡水	514,509
県北広域	久 慈 市	上水	40,874
		簡水	119,558
		普 代 村	簡水
上 水 道			54,892
簡易水道・飲料水供給施設			819,131
合 計			874,023

資料- 25 供給単価・給水原価と水道料金【上水道】

圏域	事業者名	① 供給単価 (円/m ³)	② 給水原価 (円/m ³)	①/② 料金回収率 (%)	家庭用料金 月20m ³ 使用料金 (円)	備考
盛岡 広域	盛 岡 市	216.5	172.9	125.2	2,872	
	八 幡 平 市	182.3	200.3	91.0	3,307	
	滝 沢 市	177.3	162.4	109.2	3,349	
	雫 石 町	185.9	169.6	109.6	3,164	
	岩 手 町	224.4	252.1	89.0	4,095	
	矢 巾 町	223.1	166.4	134.1	3,823	
県南 広域	遠 野 市	251.2	262.7	95.6	4,560	
	一 関 市	236.5	227.7	103.9	3,996	一関
					4,924	藤沢
	奥 州 市	210.5	241.8	87.1	3,888	
	金 ヶ 崎 町	131.5	120.6	109.0	2,516	
	平 泉 町	267.0	245.9	108.6	4,795	
岩 手 中 部	225.4	212.6	106.0	3,942		
沿岸 南部 広域	大 船 渡 市	204.4	172.4	118.6	3,425	
	陸 前 高 田 市	218.7	253.7	86.2	3,996	
	釜 石 市	186.8	178.3	104.8	3,024	
	大 槌 町	205.2	30.3	677.2	3,412	
宮古 広域	宮 古 市	140.7	135.9	103.5	2,430	
	山 田 町	200.5	195.2	102.7	3,324	
県北 広域	久 慈 市	180.5	228.8	78.9	2,980	
	二 戸 市	270.7	302.2	89.6	4,940	
	軽 米 町	274.9	461.5	59.6	5,010	
	九 戸 村	221.5	210.5	105.2	3,943	
	洋 野 町	236.1	420.4	56.2	4,320	
	一 戸 町	232.3	187.7	123.8	4,200	
最 大		274.9	461.5	677.2	5,010	
最 低		131.5	30.3	56.2	2,430	
平 均		212.7	217.2	123.9	3,769	
参 考 全 国 平 均		172.4	163.3	105.6	3,236	

出典：供給単価、給水原価、料金回収率 地方公営企業年鑑（平成28年度）

家庭用料金月20m³使用料金 水道統計（2016年度）

資料- 26 料金改定の必要性の検討状況【上水道+用水供給】

圏域	事業者名	料金改定 必要性の 定期的な検討	資産維持費の 料金への算入
盛岡 広域	盛岡市		○
	八幡平市		
	滝沢市	○	○
	雫石町		
	岩手町		○
	矢巾町		○
県南 広域	遠野市	○	○
	一関市	○	
	奥州市	○	○
	金ケ崎町		○
	平泉町	○	○
	岩手中部		○
	奥州金ケ崎	○	
沿岸 南部 広域	大船渡市		○
	陸前高田市		
	釜石市		○
	大槌町	○	○
宮古 広域	宮古市		○
	山田町	○	○
県北 広域	久慈市	○	
	二戸市	○	○
	葛巻町	○	○
	軽米町		
	九戸村	○	
	洋野町		○
	一戸町(一戸)	○	○
	一戸町(奥中山)	○	○
合計(27事業)		14	19

出典：厚生労働省調査(2016年度)

資料- 27 広域連携の状況

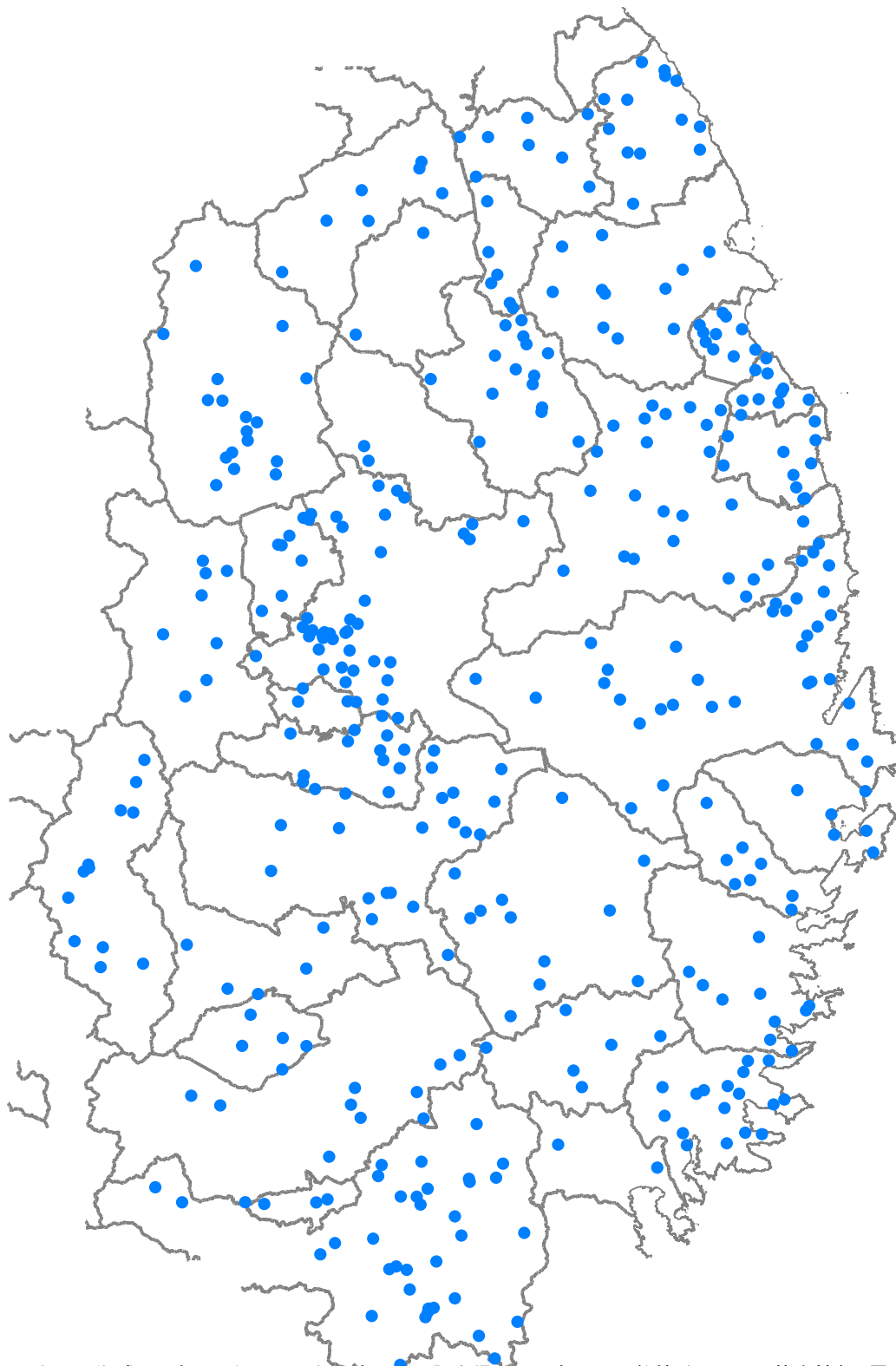
圏域	事業者名	災害時協定	運転管理	維持管理	人材育成	各種業務委託等	その他	委託内容の概要
盛岡広域	盛岡市	○			○	○	○	パートナーシップ協定、連絡配水管、職員研修、積算システム共同利用、意見交換会・研究会・検討会
	八幡平市							
	滝沢市	○						日本水道協会岩手県支部「災害時相互応援計画」
	雫石町							
	岩手町	○						災害等緊急時の相互応援給水に関する協定
	矢巾町	○					○	横浜市水道局・横浜ウォーター㈱と包括連携協定(H27.8～H30.8)を締結。今年度H33.8まで延長。超広域連携と捉えている。
県南広域	花巻市							
	北上市							
	遠野市							
	一関市	○						平泉町との協定：応急復旧・応急給水・復旧用資機材の提供・漏水調査等について応援業務を行う
	奥州市	○					○	奥州金ヶ崎行政事務組合の胆江広域水道用水供給事業による受水
	紫波町	○						岩手中部水道企業団との災害協定
	西和賀町							
	金ヶ崎町	○						災害等緊急時の相互応援給水
	平泉町	○						
岩手中部水道企業団	○						パートナーシップ協定	
	奥州金ヶ崎行政事務組合							
沿岸南部広域	大船渡市	○						水道施設の災害に伴う相互応援計画要綱、日本水道協会の会員相互応援協定
	陸前高田市	○						
	釜石市							
	住田町							
宮古広域	大槌町							
	宮古市	○						
	山田町							
県北広域	岩泉町							
	田野畑村							
	久慈市	○			○			
	二戸市	○			○		○	災害時相互応援協定の締結、各種技術研修会、情報交換会の実施、給水装置工事事業者研修会の共同開催
	葛巻町						○	北奥羽地区水道事業協議会広域連携に係る水質データ管理の共同化に関する協定
	普代村	○			○	○	○	北奥羽地区水道事業協議会として、勉強会や水質データ管理の共同化等をしている
	軽米町	○		○	○		○	災害時協定：二戸地区 維持管理：北奥羽地区水質データ共同化管理 人材育成：二戸地区上下水道連絡協議会での研修 その他：二戸地区指定給水装置工事事業者研修会の共同開催
	野田村							
	九戸村	○					○	二戸市、一戸町、軽米町、九戸村間において災害時の応急給水、資機材の提供等を行うための協定を締結している。北奥羽地区水道事業協議会において、水質データを共同管理し、データベース化による水質管理を行っている。
洋野町	○					○	水質管理(八戸圏域水道企業団)	
一戸町	○	○			○		北奥羽地区水道事業協議会、二戸地区上下水道連絡協議会(知識向上のための研修及び視察、事業推進のための情報交換及び研究、水道施設の緊急事故時の相互応援)	
広域連携の有無の数		20	1	1	6	2	9	

資料- 28 給水量の実績

項目 区域	年度	上水道				簡易水道				合計				用水供給 一日最大 給水量 m³
		一人一日配水量		一日配水量		一人一日配水量		一日配水量		一人一日配水量		一日配水量		
		最大 L	平均 L	最大 m³	平均 m³	最大 L	平均 L	最大 m³	平均 m³	最大 L	平均 L	最大 m³	平均 m³	
盛岡広域	2007	369	309	145,866	122,077	686	418	10,649	6,496	381	313	156,515	128,573	
	2008	358	302	141,076	118,890	619	376	9,593	5,836	368	305	150,669	124,727	
	2009	358	303	143,458	121,252	681	394	6,053	3,502	365	305	149,511	124,754	
	2010	368	303	147,668	121,334	559	402	4,773	3,432	372	305	152,441	124,766	
	2011	346	296	139,141	118,932	539	412	4,406	3,370	350	298	143,547	122,301	
	2012	348	300	140,189	120,641	545	406	4,435	3,307	352	302	144,624	123,948	
	2013	339	298	136,507	120,079	638	429	5,170	3,481	344	300	141,677	123,560	
	2014	339	296	136,746	119,271	541	384	4,471	3,168	343	298	141,217	122,439	
	2015	349	296	140,327	118,899	610	415	4,809	3,269	354	298	145,136	122,168	
2016	333	294	133,795	118,153	590	423	4,628	3,318	338	297	138,423	121,471		
県南広域	2007	421	335	183,933	146,279	422	285	30,199	20,379	422	328	214,132	166,657	23,300
	2008	404	331	183,649	150,592	433	290	22,702	15,186	407	327	206,351	165,778	30,875
	2009	395	326	178,802	147,605	421	290	21,848	15,053	397	322	200,650	162,658	31,957
	2010	417	336	186,990	151,019	434	302	21,349	14,834	418	333	208,339	165,853	26,006
	2011	419	346	187,509	154,708	427	301	21,106	14,892	420	341	208,615	169,599	28,074
	2012	406	346	185,052	157,830	448	302	18,575	12,497	409	342	203,627	170,328	33,018
	2013	403	344	182,374	155,953	412	292	17,269	12,264	403	340	199,643	168,217	43,509
	2014	395	338	178,083	152,466	411	291	17,188	12,165	396	334	195,271	164,630	13,276
	2015	403	340	179,955	151,754	413	301	16,989	12,383	404	336	196,944	164,137	13,090
2016	389	337	172,582	149,759	446	302	18,020	12,217	394	334	190,602	161,976	11,298	
沿岸南部広域	2007	417	325	42,647	33,210	437	287	7,417	4,867	420	319	50,064	38,078	
	2008	399	319	40,909	32,685	452	311	6,336	4,359	405	318	47,245	37,044	
	2009	381	326	38,674	33,063	432	243	6,360	3,579	388	316	45,034	36,642	
	2010	431	347	28,901	23,260	487	317	1,796	1,167	434	345	30,697	24,428	
	2011	412	353	36,432	31,221	476	286	5,777	3,471	419	345	42,209	34,693	
	2012	410	367	36,299	32,523	455	334	5,572	4,089	415	363	41,871	36,612	
	2013	454	374	40,781	33,603	486	311	5,757	3,691	457	367	46,538	37,294	
	2014	451	380	40,726	34,296	426	304	5,017	3,577	448	371	45,743	37,873	
	2015	432	385	38,616	34,415	482	319	5,633	3,725	438	378	44,249	38,141	
2016	429	376	38,867	34,047	475	335	5,385	3,793	434	371	44,252	37,840		
宮古広域	2007	471	360	30,344	23,208	532	384	14,413	10,413	489	367	44,757	33,621	
	2008	462	360	29,518	23,003	449	290	11,646	7,519	458	340	41,164	30,522	
	2009	459	366	29,060	23,192	524	357	13,531	9,206	478	363	42,591	32,398	
	2010	491	365	30,767	22,852	589	386	12,597	8,259	516	370	43,364	31,111	
	2011	446	373	26,810	22,456	575	396	13,656	9,400	482	380	40,466	31,857	
	2012	449	381	26,706	22,679	563	393	13,102	9,155	481	385	39,808	31,834	
	2013	457	385	26,929	22,707	586	409	13,303	9,278	493	392	40,232	31,985	
	2014	476	389	27,835	22,729	636	414	14,174	9,228	520	396	42,009	31,957	
	2015	446	385	27,242	23,505	654	442	12,033	8,128	494	398	39,275	31,633	
2016	520	392	31,265	23,603	557	415	10,017	7,462	528	398	41,282	31,065		
県北広域	2007	412	308	37,154	27,781	496	336	13,033	8,839	431	315	50,187	36,620	
	2008	398	297	36,103	26,951	421	331	11,277	8,872	403	305	47,380	35,823	
	2009	387	298	34,466	26,595	460	329	11,944	8,559	403	305	46,410	35,154	
	2010	380	302	34,302	27,271	470	323	11,179	7,689	399	307	45,481	34,960	
	2011	399	303	35,719	27,104	489	335	11,566	7,919	418	310	47,285	35,023	
	2012	413	311	36,670	27,600	480	361	11,353	8,550	427	321	48,023	36,150	
	2013	389	319	34,161	28,014	481	367	11,189	8,521	408	329	45,350	36,535	
	2014	383	310	33,416	27,096	477	393	10,835	8,912	402	327	44,251	36,008	
	2015	403	313	34,792	27,082	498	393	11,172	8,813	422	330	45,964	35,895	
2016	450	322	38,496	27,584	523	387	11,600	8,590	465	336	50,096	36,174		
合計	2007	404	324	439,944	352,555	481	324	75,711	50,994	414	324	515,655	403,549	0
	2008	390	318	431,255	352,121	457	310	61,554	41,773	397	317	492,809	393,893	0
	2009	383	318	424,460	351,707	469	313	59,736	39,899	392	317	484,196	391,606	0
	2010	401	323	428,628	345,737	485	332	51,694	35,381	408	324	480,322	381,118	0
	2011	391	326	425,611	354,421	482	333	56,511	39,053	400	327	482,122	393,473	0
	2012	388	330	424,916	361,274	488	346	53,037	37,598	397	331	477,953	398,872	0
	2013	385	330	420,752	360,356	489	345	52,688	37,235	394	331	473,440	397,591	0
	2014	382	327	416,806	355,858	484	347	51,685	37,050	391	328	468,491	392,907	0
	2015	388	328	420,932	355,656	499	358	50,636	36,319	397	330	471,568	391,975	0
2016	384	327	415,005	353,145	498	355	49,649	35,381	393	329	464,654	388,526	0	

出典：上水道：水道統計、簡易水道：簡易水道統計、専用水道：岩手県の水道概況

資料- 29 浄水施設位置図



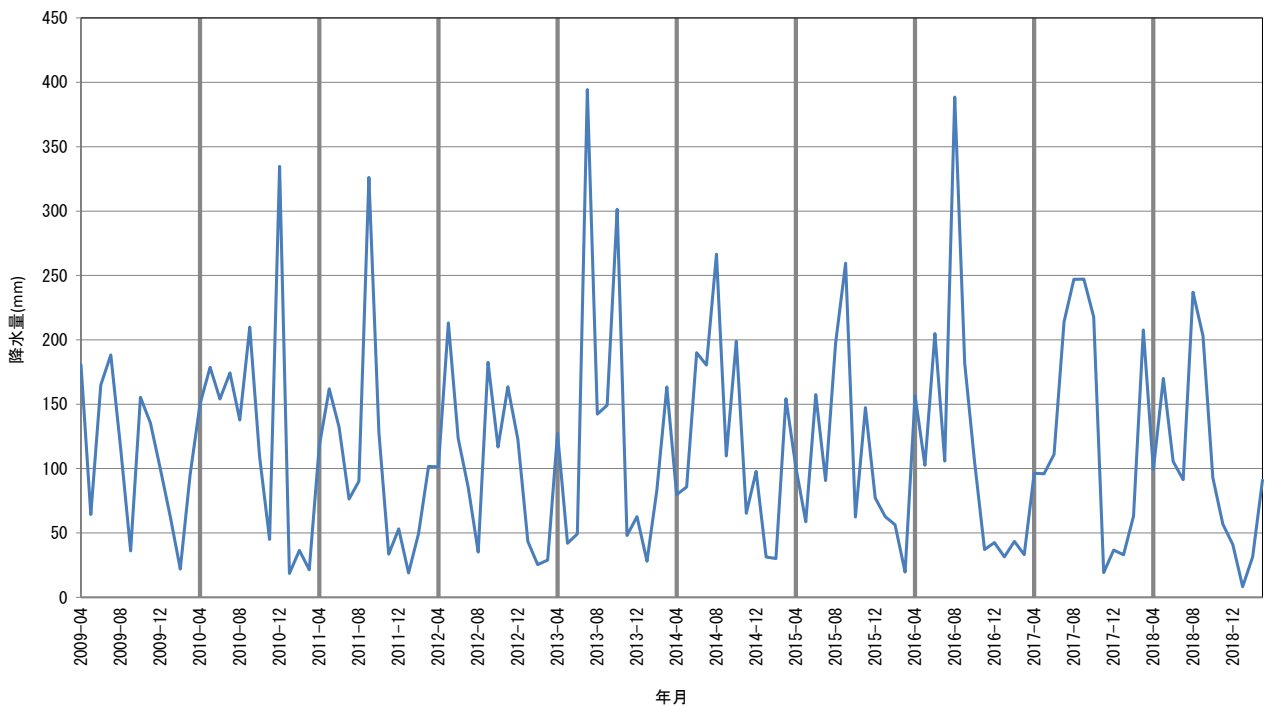
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号 平28情使、第169号)

※岩手県水道地図(平成28年3月)を基に作成

資料- 30 目標値の推移

目標	2016年度以前の実績	2016	2028
水道事業ビジョンの策定率 (策定事業の割合)	65.5% (2013年度)	74.1%	100%
経営戦略策定率(策定市町村の割合)	-	59.5%	100%
アセットマネジメント実施率(実施事業の割合)	-	44.4%	100%
水安全計画策定率(策定事業の割合)	10% (2012年度)	22.2%	100%
クリプトスポリジウム未対応施設数	59か所 (2007年度)	51か所	30か所
基幹管路耐震化計画策定率(策定事業の割合)	-	29.6%	100%
浄水場・配水場耐震化計画策定率(策定事業の割合)	-	33.3%	100%
水道基幹管路の耐震適合率	36.7% (2009年度)	49.4%	68.6%

資料- 31 降水量の推移



※気象庁「過去の気象データ」(<https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>) から取得した降水量の月別合計のデータを加工して作成。それぞれの降水量は盛岡岡地方気象台、宮古特別地域気象観測所、大船渡特別地域観測所の平均値

資料Ⅲ 水道統計で算定可能な業務指標

番号	PI名	上水+用水 全国平均	上水 全国平均	上水+用水 岩手県平均	上水 岩手県平均	上水 盛岡広域	上水道+用水 県南広域	上水 県南広域	上水 沿岸南部広域	上水 宮古広域	上水 県北広域	単位
A204	直結給水率	9.7	9.7	0.5	0.5	0.3	0.2	0.2	1.4	2.9	0.0	(%)
A301	水源の水質事故件数	780	745	2	2	0	0	0	0	0	2	(件)
A401	鉛製給水管率	4.9	4.9	16.2	16.2	22.2	16.6	16.6	3.5	0.1	14.0	(%)
B101	自己保有水源率	77.0	69.9	93.3	92.8	100.0	87.6	85.3	100.0	100.0	91.4	(%)
B103	地下水率	19.0	27.2	33.0	33.9	16.7	28.6	30.6	91.5	98.5	11.5	(%)
B104	施設利用率	59.6	59.3	62.2	62.1	63.5	59.9	59.5	75.3	69.2	53.2	(%)
B105	最大稼働率	66.9	66.8	73.0	72.9	71.9	69.1	68.6	85.9	91.6	74.3	(%)
B106	負荷率	89.1	88.6	85.1	85.1	88.3	86.7	86.8	87.6	75.5	71.7	(%)
B107	配水管延長密度	5.8	5.8	4.2	4.2	6.0	3.5	3.5	8.7	6.9	3.2	(km/km ²)
B110	漏水率	3.7	4.9	11.2	11.5	3.6	14.7	15.7	13.1	19.0	14.1	(%)
B111	有効率	94.5	92.8	86.6	86.3	94.6	83.9	82.9	77.6	80.9	84.1	(%)
B112	有収率	92.5	90.3	84.0	83.6	92.5	81.4	80.3	75.4	78.7	78.3	(%)
B113	配水池貯留能力	0.75	0.90	0.97	0.99	0.90	1.00	1.06	1.10	0.88	1.03	(日)
B114	給水人口一人当たり配水量	435	331	335	327	294	359	337	376	392	322	(L/日・人)
B115	給水制限日数	116	116	0	0	0	0	0	0	0	0	(日)
B116	給水普及率	98.4	98.4	95.8	95.8	97.4	94.3	94.3	97.0	99.6	92.3	(%)
B202	事故時断水人口率	44.1	33.3	34.8	32.2	13.3	40.4	33.9	70.9	25.5	75.7	(%)
B203	給水人口一人当たり貯留飲料 水量	171	151	166	165	133	180	178	233	173	167	(L/人)
B205	基幹管路の事故割合	5.0	5.6	6.0	6.2	7.0	0.2	0.2	28.1	16.3	9.7	(件/100 km)
B208	給水管の事故割合	4.0	4.0	4.3	4.3	1.4	8.2	8.2	0.8	1.5	4.6	(件/1,000 件)
B209	給水人口一人当たり平均断 水・濁水時間	399.28	399.28	16.11	16.11	1.69	0.78	0.78	0.29	16.46	1.95	(時間)
B210	災害対策訓練実施回数	3959	3496	23	23	9	7	7	3	1	3	(回/年)
B211	消火栓設置密度	3.3	3.3	1.8	1.8	2.6	1.4	1.4	2.5	1.6	2.0	(基/km)
B301	配水量1m ³ 当たり電力消費 量	0.39	0.38	0.50	0.51	0.36	0.52	0.54	0.58	0.65	0.79	(kWh/m ³)
B304	再生可能エネルギー利用率	0.848	0.681	0.453	0.456	0.509	0.737	0.747	0.000	0.000	0.000	(%)
B305	浄水発生土の有効利用率	78.1	74.1	91.9	91.9	100.0	96.5	96.5			0.0	(%)
B401	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率	59.1	58.4	54.6	54.4	68.7	47.2	46.8	59.8	60.4	56.1	(%)
B402	管路の新設率	0.35	0.35	0.49	0.50	0.44	0.19	0.19	2.14	2.41	0.22	(%)
B501	法定耐用年数超過浄水施設率	3.2	4.4	1.7	1.8	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
B503	法定耐用年数超過管路率	14.8	14.7	8.4	8.5	10.8	7.3	7.4	7.7	20.2	5.0	(%)
B504	管路の更新率	0.75	0.76	0.53	0.53	0.47	0.53	0.54	1.06	0.24	0.30	(%)
B602	浄水施設の耐震化率	27.9	25.0	28.2	26.2	19.4	42.1	38.5	2.1	3.6	33.0	(%)
B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率	34.7	30.5	31.3	29.5	54.0	26.2	21.5	2.1	0.0	19.3	(%)
B603	ポンプ所の耐震化率	61.3	67.0	34.2	34.4	59.8	27.9	28.1	2.0	0.3	12.6	(%)
B604	配水池の耐震化率	55.7	53.4	36.5	36.7	40.0	47.3	47.8	5.4	5.7	26.5	(%)
B605	管路の耐震管率	15.4	15.1	13.3	13.2	21.2	11.5	11.2	11.7	11.7	7.7	(%)
B606	基幹管路の耐震管率	24.4	22.8	22.8	21.6	24.7	26.8	24.6	18.4	17.8	10.7	(%)
B606-2	基幹管路の耐震適合率	38.7	35.9	49.4	49.3	53.2	50.7	50.6	32.9	26.8	53.2	(%)

番号	PI名	上水+用水 全国平均	上水 全国平均	上水+用水 岩手県平均	上水 岩手県平均	上水 盛岡広域	上水道+用水 県南広域	上水 県南広域	上水 沿岸南部広域	上水 宮古広域	上水 県北広域	単位
B609	薬品備蓄日数	37.5	43.6	28.4	28.4	46.8	27.5	26.5			7.5	(日)
B610	燃料備蓄日数	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.6	0.6	1.7	1.0	6.2	(日)
B611	応急給水施設密度	1021.7	350.0	123.8	123.8	77.1	20.2	20.2	2535.7	146.0	7.3	(箇所/100 km ²)
B612	給水車保有度	0.010	0.010	0.018	0.018	0.015	0.016	0.016	0.022	0.033	0.023	(台/1,000 人)
B613	車載用の給水タンク保有度	0.735	0.733	0.104	0.104	0.065	0.101	0.101	0.154	0.183	0.187	(m ³ /1,000 人)
C101	営業収支比率	108.1	108.1	106.5	106.6	121.1	100.6	100.7	110.3	116.6	81.1	(%)
C102	経常収支比率	114.4	114.4	116.6	116.9	129.1	109.7	110.0	120.5	122.4	105.2	(%)
C103	総収支比率	114.1	114.2	114.3	114.6	129.1	109.6	109.9	97.0	122.1	105.2	(%)
C104	累積欠損金比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
C105	繰入金比率 (収益的収入分)	1.3	1.3	4.1	4.2	0.3	5.7	5.9	1.7	1.4	14.3	(%)
C106	繰入金比率 (資本的収入分)	14.4	12.6	22.9	23.2	35.1	25.7	26.4	14.6	11.6	18.6	(%)
C107	職員一人当たり給水収益	69,888	65,620	61,871	61,306	55,002	78,627	77,354	59,315	31,375	60,569	(千円/人)
C108	給水収益に対する職員給与費の割合	11.8	12.4	12.8	12.9	15.9	9.6	9.8	12.5	24.1	10.4	(%)
C109	給水収益に対する企業債利息の割合	6.0	5.6	9.4	9.3	7.0	10.9	10.6	9.1	1.9	16.8	(%)
C110	給水収益に対する減価償却費の割合	37.8	35.3	47.5	47.1	36.4	54.1	53.4	43.9	33.5	74.4	(%)
C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	19.1	17.8	29.4	29.2	19.5	38.8	38.6	27.1	7.1	37.8	(%)
C112	給水収益に対する企業債残高の割合	276.6	269.3	455.7	441.1	226.6	592.8	564.3	495.2	204.0	847.2	(%)
C113	料金回収率	106.6	105.4	106.8	106.9	121.9	100.2	100.0	116.0	113.1	81.3	(%)
C114	供給単価	150.2	172.8	210.2	213.3	211.0	215.9	223.9	202.5	152.6	230.4	(円/m ³)
C115	給水原価	140.9	163.9	196.8	199.5	173.1	215.5	223.8	174.6	134.9	283.4	(円/m ³)
C116	1か月10 m ³ 当たり家庭用料金	1,543	1,543	1,881	1,881	1,746	2,058	2,058	1,745	1,231	2,082	(円)
C117	1か月20 m ³ 当たり家庭用料金	3,236	3,236	3,786	3,786	3,435	4,089	4,089	3,464	2,877	4,228	(円)
C118	流動比率	257.0	263.1	305.1	303.2	414.0	252.6	245.9	242.1	256.3	370.7	(%)
C119	自己資本構成比率	71.0	70.5	65.0	64.6	73.7	61.3	60.0	62.1	74.1	58.6	(%)
C120	固定比率	125.7	125.7	133.8	134.0	112.4	146.5	148.9	134.2	111.8	151.9	(%)
C121	企業債償還元金対減価償却費比率	66.9	66.4	84.4	84.3	73.9	93.5	93.8	105.4	28.0	72.9	(%)
C123	固定資産使用効率	7.9	7.1	4.7	4.8	5.7	4.1	4.3	5.4	9.9	3.2	(m ³ /万円)
C124	職員一人当たり有収水量	465,000	380,000	294,000	287,000	261,000	364,000	345,000	293,000	206,000	263,000	(m ³ /人)
C204	技術職員率	48.7	46.8	50.2	49.9	57.2	50.0	49.1	35.2	56.4	31.0	(%)
C302	浄水場第三者委託率	4.2	3.3	3.4	3.5	0.0	3.2	3.4	0.0	0.0	23.9	(%)
CI1	給水人口規模	120,229,643	120,229,643	1,081,587	1,081,587	401,396	443,843	443,843	90,631	60,179	85,538	(人)
CI2	全職員数	47,709	43,582	514	511	201	178	175	54	39	42	(人)
CI4	浄水受水率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)
CI5	給水人口1万人当たりの浄水場数	0.53	0.52	1.35	1.34	0.87	1.37	1.35	1.66	1.50	3.04	(箇所/10,000 人)
CI6	給水人口1万人当たりの施設数	0.53	0.52	1.35	1.34	0.87	1.37	1.35	1.66	1.50	3.04	(箇所/10,000 人)
CI7	有収水量密度	1.62	1.20	0.43	0.41	0.95	0.28	0.26	0.98	1.03	0.24	(1,000m ³ /ha)
CI8	水道メーター密度	87.8	87.8	46.1	46.1	71.5	34.6	34.6	53.2	63.6	36.0	(個/km)
CI9	単位管延長	5.63	5.53	10.87	10.81	6.70	14.49	14.36	10.32	7.96	14.22	(m/人)

資料IV 用語解説

用語等	解 説										
【あ】											
浅井戸	不圧地下水（自由面地下水）を取水する井戸。一般的に深度は10～30m 以内の比較的浅い地下水を汲み上げることから、浅井戸と呼ばれている。この種の井戸では、地下水面が通気帯を通じて大気圧と平衡状態にある。降水量の多少によって地下水面は変動し、水質は地上の条件に影響されやすい。以前は手掘り井戸が多かったが、今では打込み井戸やボーリング井戸が主となっている。										
アセットマネジメント	資産を効率的に管理すること。水道においては、「水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動」を指す。										
一日最大給水量	単位当りの給水量のこと。年間一日給水量のうち最大のものを一日最大給水量（m ³ /日）といい、これを給水人口で除したものを一人一日最大給水量（ℓ/人/日）という。										
一日平均給水量	単位当りの給水量のこと。年間総給水量を年日数で除したものを一日平均給水量（m ³ /日）といい、これを給水人口で除したものを一人一日平均給水量（ℓ/人/日）という。										
鉛管	柔軟性に富み、加工が容易なことから古くから使用されてきたが、外傷に弱く、アルカリに侵されるため、コンクリート中への埋設には適していない。また、1980年代後半には、水道水中への鉛の溶出に対して WHO などによる量的規制が厳しくなっており、これに対応するため、外面被覆と同時に内面にポリエチレン粉体を融着被覆したライニング鉛管が開発された。										
【か】											
加工組立型産業	<p>経済産業省工業統計課が独自に日本標準産業分類の「大分類F－製造業」に基づいた産業の分け方を「基礎素材型産業」、「加工組立型産業」、「生活関連型産業」の3つに分類したものが「産業3類型」である。</p> <p>加工組立型産業の分類としては、以下の産業を足しあげたもの（頭の数値は産業中分類番号）となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・自動車、テレビ、時計などの加工製品を製造する産業。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>29 一般機械器具製造業</td> <td>30 電気機械器具製造業</td> </tr> <tr> <td>31 輸送用機械器具製造業</td> <td>32 精密機械器具製造業</td> </tr> </table>	29 一般機械器具製造業	30 電気機械器具製造業	31 輸送用機械器具製造業	32 精密機械器具製造業						
29 一般機械器具製造業	30 電気機械器具製造業										
31 輸送用機械器具製造業	32 精密機械器具製造業										
簡易水道	簡易水道事業の用に供する水道をいい（水道法施行令第3条第2項）、計画給水人口が5,000人以下の水道である。										
企業債	大規模な資産を取得するため、国や地方自治体などから借り入れる長期の借入金。また、企業債（元金分）は、資本的支出として定期的に償還（返済）されていき、その未償還分は企業債残高と呼ばれる。										
給水人口	上水道、簡易水道及び専用水道から給水を受けている人口。										
基礎素材型産業	<p>経済産業省工業統計課が独自に日本標準産業分類の「大分類F－製造業」に基づいた産業の分け方を「基礎素材型産業」、「加工組立型産業」、「生活関連型産業」の3つに分類したものが「産業3類型」である。</p> <p>基礎素材型産業の分類としては、以下の産業を足しあげたもの（頭の数値は産業中分類番号）となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・鉄、石油、木材、紙などの製品で、産業の基礎素材となる製品を製造する産業。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>16 木材・木製品製造業</td> <td>18 バルブ・紙・紙加工品製造業</td> </tr> <tr> <td>20 化学工業</td> <td>21 石油製品・石炭製品製造業</td> </tr> <tr> <td>22 プラスチック製品製造業</td> <td>23 ゴム製品製造業</td> </tr> <tr> <td>25 窯業・土石製品製造業</td> <td>26 鉄鋼業</td> </tr> <tr> <td>27 非鉄金属製造業</td> <td>28 金属製品製造業</td> </tr> </table>	16 木材・木製品製造業	18 バルブ・紙・紙加工品製造業	20 化学工業	21 石油製品・石炭製品製造業	22 プラスチック製品製造業	23 ゴム製品製造業	25 窯業・土石製品製造業	26 鉄鋼業	27 非鉄金属製造業	28 金属製品製造業
16 木材・木製品製造業	18 バルブ・紙・紙加工品製造業										
20 化学工業	21 石油製品・石炭製品製造業										
22 プラスチック製品製造業	23 ゴム製品製造業										
25 窯業・土石製品製造業	26 鉄鋼業										
27 非鉄金属製造業	28 金属製品製造業										
基本理念	あることに対する根本的な考え方。物事のあるべき状態についての基本的な考え。										
給水原価	有収水量1m ³ をつくるために必要な費用。 ＝（経常費用－（受託工事費＋材料売却費＋附帯事業費））[円]／有収水量[m ³]										
給水収益	水道事業会計における営業収益の1つであり、公の施設としての水道施設の使用について徴収する使用料（自治法225条）をいう。水道事業収益のうち、最も重要な位置を占める収益である。通常、水道料金として収入となる収益がこれに当たる。										
供給単価	有収水量1m ³ の供給で得られる収益。 ＝給水収益[円]／有収水量[m ³]										
業務指標	PI ともいう。「水道事業ガイドライン」によると、水道サービスの目的を達成し、サービス水準を向上させるために、水道事業全般について多面的に定量化するもの。										

用語等	解 説
クリプトスポリジウム	原生動物（寄生虫学では原虫類という）アピコンプレックス亜門孢子虫綱真コクシジウム目クリプトスポリジウム科の唯一の属。腸管に感染して下痢を起こす病原微生物で、ヒトに感染するのはおもに <i>Cryptosporidium parvum</i> である。水系感染することが認識されたのは1980年代になってからであるが、それ以降、汚染された水道水を原因とする大規模な集団感染をたびたび引き起こしている。平成8年（1996）6月に埼玉県越生町で町営水道水が原因となった大規模な集団感染を引き起こしたことから、その対策の重要性が認識され、厚生省（現厚生労働省）は「水道におけるクリプトスポリジウム暫定対策指針」を全国に通知し、濁度0.1度以下での濾過水管理などの対策を取ることを求めている。
経営戦略	公営企業が、将来わたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画であり、施設・設備に関する投資の見通しを試算した計画（投資試算）と、財源の見通しを試算した計画（財源計画）を構成要素とし、投資以外の経費も含めた上で収支と収入が均衡するよう調整した中長期計画である。
経年管	布設後、相当年数経過した水道管のこと。一般に使用年数の経過とともに劣化し、漏水事故発生の危険が高くなるほか、赤水発生や出水不良の原因となる。このため、管路の更新の必要が生じるが、管の材質、水質、管内流速、埋設環境によって異なり、経年管が必ずしも管路更新の必要となる「老朽管」とは一致しない。
広域化	広域水道は、市町村の行政区域を越えた広域的見地から経営される水道をいう。市町村単位で水道事業を経営するよりは、水道を地域的に広域化することにより、水資源の広域的利用や重複投資を排した施設の合理的利用による給水の安定化と財政基盤の強化が図られるとの考え方に基づくものである。
鋼管	素材に鋼を用いていることから、強度、靱性に富み、延伸性も大きいため、大きな内・外圧に耐えることができる。また、溶接継手により連結されるため、管路の一体化が可能であり、継手部の抜け出し防止策が不要となるほか、軽量で加工性が良いなどの特徴がある。こうした反面さびやすいため、内外面に高度防食塗装を要することから、他の管路に比べ施工性に劣るなどの短所がある。
硬質塩化ビニル管	塩化ビニル樹脂を主原料とし、安定剤、顔料を加え、加熱した押し出し成形機によって製造したものの。この管は、耐食性・耐電食性に優れ、スケールの発生もなく軽量で接合作業が容易であるが、反面、衝撃や熱に弱く、紫外線により劣化し、凍結すると破損しやすい。
コーホート要因法	コーホートの本来の意味は、群れ、集団のことで、人口学では、出生、結婚などの同時発生集団をいう。コーホート要因法は、年齢コーホートの自然動態、社会動態に着目した推計方法であり、わが国の将来推計人口等で用いられている。
【さ】	
ジアルジア	原生動物（寄生虫学では原虫類という）肉質鞭毛虫亜門動物性鞭毛虫綱ヒゲハラムシ目の <i>Giardia</i> 属の生物。ほ乳類の十二指腸や小腸上部の内壁にへばりつくように寄生し、下痢を起こす。ヒトに感染する種は一般に <i>Giardia lamblia</i> （ランブル鞭毛虫）と呼ばれるが、 <i>Giardia intestinalis</i> と称されることもある。ヒト以外にもビーバー、イヌ、アレンチネズミなど広い範囲のほ乳類に寄生する。栄養型は洋ナシを逆さにしたような外形で虫体の腹面に2個の吸盤があり、8本の鞭毛を持つ。栄養体は環境が悪化するとシストを形成し、糞便とともに環境中に成熟シストとして放出される。シストは長さ約10 μ m 前後、幅約8 μ m 前後の楕円形で、成熟したシストでは4核を有する。クリプトスポリジウムのオーシストほどではないがジアルジアのシストも塩素に耐性がある。ジアルジアは世界的に広く分布しており、1960年代から水系感染の原因生物として知られ、米国はじめ世界的に水に起因する集団感染事例が多数ある。わが国でもクリプトスポリジウムとともに対策が取り組まれている。
受水	水道事業者が、水道用水供給事業から浄水（水道用水）の供給を受けること。また、水道事業者から供給される水を利用者が水槽に受けることも「受水」という。一般に高層ビル、ホテル、プールなどの大口需要者に対しては、配水管の水圧に影響を及ぼし、また十分な水圧が確保できないため受水槽方式が取られている。この場合、吐水口をもって水道事業と切り離されている。
取水施設	原水を取り入れるための施設総体をいう。河川水や湖沼水などの地表水の取水施設としては、取水堰、取水門、取水塔、取水枠、取水管渠があり、地下水や伏流水の取水施設としては、浅井戸、深井戸、集水埋渠がある。取水施設の設置にあたっては水質が良好であって計画取水量（計画一日最大給水量を基準とし、その他必要に応じた水量を加算）が年間を通じて確実に取水できる地点、規模、取水方法、維持管理などを考慮して施設の計画をすることが必要である。
浄水施設	水源から送られた原水を飲用に適するように処理する施設。一般的に、凝集、沈澱、濾過、消毒などの処理を行う施設をいう。浄水処理の方式は水源の種類によって異なるが、①塩素消毒のみの方式、②緩速濾過方式、③急速濾過方式、④高度浄水処理を含む方式、⑤その他の処理、の方式のうち、適切なものを選定し処理する。

用語等	解 説								
上水道（事業）	水道事業のうち簡易水道を除いた給水人口が5,000人を越えるものを、上水道（事業）ということがあるが、厳密には水道法で定義された概念ではない。								
新水道ビジョン	平成25年3月に厚生労働省健康局から発表された水道に関する将来ビジョン。 水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン（平成16年策定、平成20年改訂）」を全面的に見直し、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取組の目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担を提示したものの。								
水道	導管及びその他の工作物により、水を人の飲用に適する水として供給する施設の総体をいう。ただし、臨時に施設されたものを除く（水道法3条1項）。工業用水道や下水道と区別し、上水道ともいう。								
水道基盤強化計画	水道の基盤強化に向けた具体的な実施計画（改正水道法第5条の3）								
水道広域化推進プラン	水道基盤強化計画の策定を見据え、広域化の推進方針及び当面の具体的取組の内容等を定めた計画（総財第85号 生食発第0125第4号 平成31年1月25日 総務省自治財政局長、厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官通知）								
水道事業ガイドライン	平成17年1月に制定されたJWWA規格。水道サービスの目的を達成し、サービス水準を向上させるために、水道事業全般について多面的に定量化するものとして業務指標が定められている。平成28年3月2日に「水道事業ガイドライン（JWWA Q100）：2016」に改訂された。								
水道事業ビジョン	地域水道ビジョンのうち水道事業者等が自らが策定する事業ビジョン。								
水道統計	水道事業の効率的な運営を図る上で必要な業務・施設・水質などの状況を調査して、その傾向・性質などを計数的・統一的に整理したもの。厚生労働省は毎年度、都道府県や市町村、水道事業者の協力を得て「全国水道施設現況調査」・「上水道業務統計」などの調査を実施しており、日本水道協会は、その結果をとりまとめ、厚生労働省の監修の下、水道の正しい現状認識と今後の発展に寄与するために、「水道統計」を発行している。								
水道ビジョン	平成16年6月に厚生労働省健康局から発表された水道に関する将来ビジョン。 「世界のトップランナーを目指してチャレンジし続ける水道」を基本理念に掲げ「安心」、「安定」、「持続」、「環境」、「国際」を五つの主要政策課題と位置づけ、課題に対処するための具体的な施策及び方策、工程等を包括的に明示。								
生活関連産業	経済産業省工業統計課が独自に日本標準産業分類の「大分類F－製造業」に基づいた産業の分け方を「基礎素材型産業」、「加工組立型産業」、「生活関連型産業」の3つに分類したものが「産業3類型」である。生活関連型産業の分類としては、以下の産業を足しあげたもの（頭の数値は産業中分類番号）となる。・・・飲食料品、衣服、家具等の衣食住に関連する製品等を製造する産業。 <table border="1" data-bbox="614 1254 1220 1377"> <tbody> <tr> <td>12 食料品製造業</td> <td>13 飲料・たばこ・飼料製造業</td> </tr> <tr> <td>14 繊維工業</td> <td>15 衣服・その他の繊維製品製造業</td> </tr> <tr> <td>17 家具・装備品製造業</td> <td>19 出版・印刷関連産業</td> </tr> <tr> <td>24 なめし革・同製品・毛皮製造業</td> <td>34 その他の製造業</td> </tr> </tbody> </table>	12 食料品製造業	13 飲料・たばこ・飼料製造業	14 繊維工業	15 衣服・その他の繊維製品製造業	17 家具・装備品製造業	19 出版・印刷関連産業	24 なめし革・同製品・毛皮製造業	34 その他の製造業
12 食料品製造業	13 飲料・たばこ・飼料製造業								
14 繊維工業	15 衣服・その他の繊維製品製造業								
17 家具・装備品製造業	19 出版・印刷関連産業								
24 なめし革・同製品・毛皮製造業	34 その他の製造業								
石綿セメント管	石綿繊維（アスベスト）・セメント・珪砂を水で練り混ぜて製造した管。アスベストセメント管とも呼ばれる。長所は耐食性・耐電食性が良好であるほか、軽量で加工性が良く、また価格が安いなどがあげられる。一方、強度面や耐衝撃性で劣るなどの短所がある。なお、人体内へのアスベスト吸入による健康への影響が問題となり、現在、製造が中止されている。								
専用水道	寄宿舎、社宅、療養所等における自家用の水道その他水道事業の用に供する水道以外の水道で、100人を超える者にその居住に必要な水を供給するもの、若しくはその水道施設の一日最大給水量が飲用その他生活の用に供することを目的とする水量が20m ³ を超えるものをいう。ただし、他の水道から供給を受ける水のみを水源とし、かつ、その水道施設のうち、地中又は地表に施設されている口径25mm以上の導管の全長が1,500m以下で水槽の有効容量の合計が100m ³ 以下の水道は除かれる（水道法3条6項、同法施行令1条、同法施行規則1条）。								
送水施設	浄水場から配水池までに浄水を送る施設をいい、調整池、送水ポンプ、送水管、送水トンネル及びその付帯施設である。								
【た】									
第一次産業	統計調査等における産業の分類方法の一つ。 日本標準産業分類の農業、林業、漁業をいう。								
第二次産業	統計調査等における産業の分類方法の一つ。 日本標準産業分類の鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業をいう。								

用語等	解 説
第三次産業	統計調査等における産業の分類方法の一つ。 第一次産業、第二次産業に含まれない産業をいう。 具体的には、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、複合サービス業、サービス業（他に分類されないもの）、公務（他に分類されるものを除く）をいう。
第三者委託	水道事業者、水道用水供給事業者、専用水道の設置者は、水道の管理に関する技術上の業務の全部又は一部を他の水道事業者、水道用水供給事業者又は当該業務を実施できるだけの経理的・技術的基礎を有する者に委託することができるものとした。
ダクタイル鋳鉄管	鋳鉄に含まれる黒鉛を球状化させたもので、鋳鉄に比べ、強度や靱性に富んでいる。施工性が良好であるため、現在、水道用管として広く用いられている。
地域水道ビジョン	各水道事業者等が、事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で、「水道ビジョン」の方針を踏まえて目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を含めた地域水道のビジョン。新水道ビジョンを受けて、水道事業ビジョン及び都道府県水道ビジョンの総称を地域水道ビジョンとし位置付けられた。
地方公営企業年鑑	地方公共団体が経営する企業の決算統計を整理したもの。総務省が毎年度調査を実施し、「地方公営企業年鑑」を発行している。
鋳鉄管	鉄、炭素（含有量2%以上）、ケイ素からなる鉄合金（鋳鉄）で作られた管。
貯水施設	豊水時の水を貯留し、降水量の変動を吸収して、取水の安定を図る水道施設のこと。一般に新規に地表水を取水しようとするときは、既存の水利と競合するため、貯水施設を設置することにより必要な取水量を確保する。形態から分類すると、ダム、湖沼（堰又は水門の設置）、遊水池（池底掘削等）、河口堰、溜池（浚渫等）、地下ダム等がある。また、使用目的により分類すると、水道専用貯水施設、洪水調節、発電、灌漑、工業用水道等の用途と共同で建設する多目的貯水施設がある。
継手	管と管の接合、管とバルブ類の接合など、管路に欠くことのできない材料。種類が豊富で、種々の構造、性能をもったものがある。構造で分類すると、ネジ形、フランジ形、摺動形、溶接などがある。性能で分類すると、伸縮継手、可撓継手、離脱防止継手、伸縮離脱防止継手、耐震継手などがある。また、ダクタイル鋳鉄管、鋼管、塩化ビニル管など、各管種別に分類される。いずれの継手も水密性が要求される。使用場所、使用目的に応じて継手を使い分ける必要がある。
導水施設	水道施設のうち、取水施設を経た水を浄水場まで導く施設で、主要なものは、導水路（導水渠、導水管）、導水ポンプ、原水調整池などである。
都道府県水道ビジョン	地域水道ビジョンのうち都道府県が策定するビジョンであり、都道府県において水道事業が目指すべき方向等を定めた基本的なビジョン。
【は】	
配水施設	配水池、配水塔、高架タンク、配水管、ポンプ及びバルブ、その他の付属設備から構成される配水のための施設。各設備は合理的な計画のもとに配置され、需要者の必要とする水を適正な水圧で供給できることが必要である。
表流水	地表水とほぼ同じ。特に水利用の観点から地下水に対していう。一般に河川水、湖沼水をいう。
深井戸	被圧地下水を取水する井戸をいう。ケーシング、スクリーン及びケーシング内に釣り下げた揚水管とポンプからなり、狭い用地で比較的多量の良質な水を得ることが可能である。深さは、30m 以上のものが多く、600m 以上に及ぶこともある。なお、ディープウェル工法という言葉は、わが国では土木工事における地下水位低下工法の一つを示すときに用いられている。
負荷率	一日最大給水量に対する一日平均給水量の割合を表すもので、次式により算出する。（一日平均給水量／一日最大給水量）×100 この比率は水道事業の施設効率を判断する指標の一つであり、数値が大きいほど効率的であるとされている。
伏流水	河川水は河道に沿って表流水となって流れる水の他に、河床や旧河道などに形成された砂利層を潜流となって流れる水が存在する場合がある。この流れを伏流水という。
法定耐用年数	固定資産が、その本来の用途に使用できると見られる推定の年数を法律で定めたもの。
ポリエチレン管	プラスチック管の一種で、1962年頃から給水装置に使用され始めた。接合方法は熱融着による方法と機械的に管を締めつけて接続する方法があり、管は軽量で耐寒性、耐衝撃性に優れる。長尺物であるため継手数が少なく済み、施工性に優れている。また他の管種に比べ、可撓性に富んでおり、地盤変動に対して影響が少ないなどの特徴を有しているが、有機溶剤、ガソリン等に侵されやすいので注意が必要である。
【ま】	

用語等	解 説
水安全計画	水源から蛇口に至る水道システムに存在するリスクを抽出・特定し、それらを継続的に監視・制御することにより、安全な水の供給を確実にするシステムづくりを目指すもので、新水道ビジョン（平成25年3月策定）においても、統合的アプローチにより水道水質管理水準の向上を図ることを重点な方策として、位置づけている。
【や】	
有効率	有効水量を給水量で除したもの（％）。水道施設及び給水装置を通して給水される水量が有効に使用されているかどうかを示す指標であり、有効率の向上は経営上の目標となる。
有収水量	料金徴収の対象となった水量及び他会計等から収入のあった水量。

※用語解説は、「水道用語辞典（第二版）」（社団法人日本水道協会発行）等から引用又は参照した。

